

同窓会報



鳥羽商船同窓会

〒517-8501
三重県鳥羽市池上町1番1号
TEL (0599)25-8045
FAX (0599)25-8128
振替口座番号 00850-6-846



◆ 目 次 ◆

同窓会会長挨拶……………	2	褒章受章……………	24
校長挨拶……………	3	母校鳥羽商船に来訪……………	25
平成24年度会務報告……………	4	クラス会……………	26
平成25年度会務報告・計画……………	4	趣味など……………	30
平成24年度会計報告……………	6	会員の投稿……………	31
平成25年度予算……………	7	事務局だより……………	32
同窓会役員・理事……………	7	平成25年度行事予定……………	34
同窓会の活動……………	8	会員の移動等……………	35
NPO法人 故郷の海を愛する会……………	10	死亡会員……………	36
学校だより……………	13	新入会員……………	37
小水力発電コンテスト 参加レポート……………	19	住所変更……………	38
支部だより……………	20	寄付金・会費納入実績……………	39

同窓会会長挨拶

S35E 菱田 司

会長就任に際しての御挨拶。

昨年6月に会長に就任いたしました。早くも1年以上が過ぎました。田中代行より引き継ぎ、辻前会長路線を先ず踏襲する事より始めてきました。

総会、支部総会、その他のチャンスにて皆様のご意見も聞く事が出来ました。また、数度の学校訪問、

伊勢志摩地方へのいざないにより、学校、同窓会の置かれている現状にもそれなりに、認識が出来ました。同窓会員総数が4670名を超えるかと思われる現状ですが、その内容においては、工業系の卒業生が1510名に近づいて居ります。また伊勢志摩支部、四日市支部の会員数はこれを合わせると1820名以上となり、会員の所在が偏在しつつあり、今後の傾向も見えてきます。この現実を直視し、同窓会の運営に資する事が大切であると感じる次第です。今年度の予算策定につきましては前記を反映させ、重点施策目標として次の事を勘案した予算として、総会にてご承認いただきました。

1. 全日本船舶職員協会との関係を深め、支援事業の拡大をお願いする。
2. 同窓会の活性化を図る為、故郷の海を愛する会を、引き続き支援する。また同会の健全な運営と、財政基盤の確立に寄与する。
3. 同窓会役員に、順次工業系出身者を起用して活躍をお願いする。
4. 同窓会会員の教官に事務局員等として活躍をお願いする。
5. 同窓会資金の有効化を図る為、メリハリをつけた予算とする。



6月9日の総会では、各支部担当の副会長、各支部選出の理事も決まりました。今後2年間おおいに活躍が期待できる皆さんです。

最後に、私なりに感じております来年度以降の問題点を記しますので、事務局及び、皆さんでぜひともご検討くださいますようお願いいたします。ご意見お待ちしております。

1. 新入会員の会費納入率が向上するよう努力する。
2. 故郷の海を愛する会のNPO法人化に伴い、同窓会との連携を重視する。

その際、以下について考慮する事が大切と思はれる。

- ・同窓会に出来るだけ負担をかけない様、故郷の海を愛する会は財務的に自立できるよう努力する。
- ・正会員として法人格の全船協、鳥羽商船同窓会、地元有力者等に加入してもらう。
- 3. 事務局の合理的なあり方を検討する。
同窓会事務局の担当している作業の、マニュアル化を図っておく。

簡単ではありますが、1年経過のお礼と今後2年間の御支援をお願いします。

同窓会会費納入のお願い

円滑な同窓会運営の為会費納入にご協力ください。
滞納の方は分割でも結構です。



攻玉社 祝

創立150周年

1863年 文久3年
校祖 近藤真琴が江戸四ッ谷坂町鳥羽藩邸内に蘭学塾を開く。

1869年 明治2年
海軍操練所内に塾を移す。
塾名を「攻玉塾」（後の攻玉社）
蘭学・数学・測量・航海術等を教授する（海軍操練所予科となる）

1875年 明治8年9月
近藤真琴、現東京都港区浜松町に航海測量習練所を開設。

1881年 明治14年8月
近藤真琴、三重県鳥羽に商船覺分校を開校。生徒数18名。

校長挨拶

藤田 稔彦



◇高専創設 50 周年： 昨年度は高専創設 50 周年にあたり、10 月に学術総合センター「一橋講堂」で記念式典・記念シンポジウムが開催されました。東海地区では国立第 1 期校の沼津高専と鈴鹿高専が 11 月に創立 50 周年記念式典・祝賀会を開催し、今年は第 2 期校の豊田高専と岐阜高専がそれぞれ

11 月 9 日、16 日に開催予定です。本校は、国立鳥羽商船高校から高専に昇格したのが 1967 年で、50 周年は 4 年後になります。

高専機構は、創設 50 周年を機に「進化する高専」をキャッチフレーズとして新たな歩みを始めており、各校に教育の高度化と質保証を求めています。「国際的に通用するグローバル人材の育成」と「地域や産業界のニーズに応えることのできるイノベーション人材の育成」がその 2 本柱です。8 月 20 日に名古屋で開催された全国高専テクノフォーラム「さまざまな絆で新たな発展」でも、エンジニアリングデザイン教育など、創造力と実践力を育てる高専教育の充実に加え、英語によるコミュニケーション能力やネットワークの重要性が強調されました。

◇モデルコアカリキュラム (MCC)： 高専機構本部から昨年 3 月にモデルコアカリキュラム (試案) が提示されました。コアの部分は、高専の全ての学生に到達させることを目標とする最低限の修得内容であり、数学、自然科学、工学基礎などの共通部分と機械、電気電子、情報、建設などの専門分野の基準が提示されています。モデルの部分は、高専がさらに高度化するためにモデルとなる指針を提示し、これらを合わせてモデルコアカリキュラムと称しています。

現在、「分野別到達目標に対するラーニング・アウトカム評価による質保証」、「スキルと質の保証を目指した MCC 版教育システムの開発と実践」などの高専間プロジェクトで、質保証や到達度の評価方法等が検討されており、本校教員もメンバーとして参加しています。8 月 21 日～23 日に豊橋で開催された全国高専教育フォーラムでも「モデルコアカリキュラム (試案) 導入ワークショップ」が開かれ、多くの質疑応答が交わされました。

◇本校 3 学科の高度化： 本校では将来計画委員会の下に高度化再編を検討する作業部会を設け、来年度から現在の工業系 2 学科 (電子機械工学科、制御情報工学科) を 1 学科 3 コース (創造工学科：情報コース、電気電子コース、機械コース) に改組する計画を練ってきました。しかしながら、当面は慎重を期して、来年度の学生募集は従来どおりの学科別とし、作業部会での検討結果に沿ったクラス・コース編成を採り入れ、一般教科を含めた大幅なカリキュラム改訂により高度化を推進することにしました。商船学科でも工業系 2 学科のそれと改正 STCW 条約に合わせてカリキュラムの改訂を行います。現在、今後 5 年間の授業時間表 (案) を策定し、調整を行っているところです。

5 高専・商船学科では、平成 23 年度高専改革推進経費による「All SHOSEN 学び改善プロジェクト」に続いて、昨年度から船主協会、全船協、全日海、国船協と連携した大学間連携共同教育推進事業「海事分野における高専・

産業界連携による人材育成システムの開発」を実施しており、その成果が期待されます。

なお、商船学科では、航海訓練所の大型練習船実習への派遣時期変更に伴う新配乗パターンが決定し、今年度は 4 年生が 8 月 22 日から 1 ヶ月、5 年生が 10 月から 6 ヶ月、2 年生が来年 3 月に 1 ヶ月の乗船実習を行います。

◇監事監査・内部監査： 昨年 12 月に高専機構本部により、本校の個性化・高度化の進捗状況、教育・研究活動、リスク管理体制等、多岐にわたる平成 24 年度監事監査・内部監査が実施されました。事務処理等で幾つか改善すべき事項のご指摘もありましたが、少人数の教職員で学校運営業務を良くこなしているとの監事講評をいただき、学生相談室・保健室の充実、練習船鳥羽丸の活用、同窓会との連携等が高く評価されました。

◇機関別認証評価： 本年度は、学校教育法で 7 年以内ごとに評価を受けることを義務づけられている高等専門学校機関別認証評価を受審します。これは学校の存続に関わる極めて重要な審査で、昨年度から鋭意準備を進め、期限の 6 月 28 日までに大学評価・学位授与機構の評価委員会に自己評価書を提出しました。現在、書類審査中で、11 月 5 日、6 日に本校への訪問調査が実施され、来年 1 月に評価結果 (案) の通知があり、異議申し立てを経て、3 月に最終結果が通知されます。

◇大型予算による施設整備： 国の景気対策を目的とした昨年度の補正予算 (本年度前倒し分を含む) で、建物にからむ設備に高額の前倒し予算が措置されました。施設整備費として商船学科の操船シミュレータ装置を含め 13 件、設備整備費として電子機械工学科・制御情報工学科の組み込みシステム教育用プラットフォームを含め 5 件、合計 18 件で約 3 億 9 千万円です。

また、政府の方針で、平成 27 年度までに耐震度の低い建物 (IS 値 0.7 未満) は耐震改修等何らかの方策を講じることとなり、旧白菊寮についても、高専機構本部から 3 年間の予定で改修および解体の予算措置がなされました。本年度は北寮の解体および厨房・食堂 (現在、卒業研究の実験やロボコン作品等の製作場所として利用) の改修、来年度に南寮の解体と環境整備、再来年度に西寮 (旧女子寮) の改修を行う予定です。このような大型予算により懸案の施設整備が進み、有り難い状況です。

◇入試状況・その他： 今年の入学者は商船学科 43 名、電子機械工学科 40 名、制御情報工学科 43 名で合計 126 名 (うち女子 15 名)、生産システム工学専攻 13 名 (同 3 名) です。本科の志願者倍率は約 2 倍を維持していますが、優秀な学生の安定確保のため、来年度の学生募集では、体験学習選抜と推薦選抜を合わせた募集人員を、各学科の入学定員の 50% から 85% を超えない範囲で大幅に増やします。

学生の活躍については、昨年 10 月の全国高専プロコン大会での特別賞受賞、11 月の全国高専ロボコン大会への 8 年ぶりの出場、本年 7 月 21 日の全国商船高専漕艇大会でのカッター部 7 連覇など、報告すべきことは沢山ありますが、ホームページ等をご覧いただければ幸いです。本校同窓会の皆さまには、学校内外の各種行事や学生の課外活動、NPO 法人「故郷の海を愛する会」等を通して多大なご支援をいただき感謝しております。なお、横浜の京浜会館は、高専機構本部と社会福祉法人白百合会との間で本年 2 月に売却契約が結ばれました。

最後に、近藤真琴翁が創立した東京の攻玉社学園が来る 10 月 2 日に創立 150 周年記念式典・祝賀会を執り行う慶びをお伝えし、結びといたします。

本部報告

平成24年度本部会務報告

①会議

イ、理事会

平成 24 年 6 月 10 日 (日)

ロ、総会

平成 24 年 6 月 10 日 (日)

ハ、支部長会

平成 24 年 11 月 17 日 (土)

母校 百周年記念会館会議室

理事会と総会に関しては昨年度会報に掲載済みであり、詳細は省略し、支部長会関連のみ掲載します。

支部長会開催

会長以下 2 名の副会長、北海道支部を除く各地支部長・代理・代行、事務局長・局長代行、藤田学校長等が参加し 14:00 から 17:00 の間、事項書に沿って会議がなされました。

1. 会長挨拶 菱田会長
2. 学校報告 藤田学校長
3. 事務局報告 江崎事務局長代行 (当時)
 - ①新規同窓会員の入会状況報告
 - ②会計中間報告
 - ③次年度役員改選についてのお願い
4. 各支部長報告 各支部長
5. 支部長会議案
 - ①平成 25 年度の定例理事会・総会の開催
 - ②学生課外活動支援金の支給現況
 - ③故郷の海を愛する会のあり方について
 - ④予算執行のあり方について



②会報の発行

平成 24 年 9 月 29 日に発行、同窓生全員に送付しました。

③主要活動 (昨年度会報掲載分除く)

- ・ 9 月 25 日商船学科卒業祝賀会協賛。
菱田会長、古川伊勢志摩支部長、事務局
- ・ 11 月 10 日近藤真琴記念碑周辺草刈り実施
伊勢志摩支部
- ・ 11 月 18 日母校海学祭に協賛
伊勢志摩支部
- ・ 12 月 15 日故郷の海を愛する会活動その③実施
伊勢志摩支部
- ・ 3 月 5 日工業系学科卒業式、専攻科修了式祝賀会協賛
山田副会長、古川伊勢志摩支部長、事務局

上記記事の詳細は「同窓会の活動」を参照ください。

平成25年度本部会務報告・計画

①会議

イ、理事会

平成 25 年 6 月 9 日 (日) 10:20 ~ 11:40
「名古屋マリオットアソシアホテル」16 階
アイリス別室

ロ、総会

平成 25 年 6 月 9 日 (日) 11:50 ~ 12:20
「名古屋マリオットアソシアホテル」16 階
アイリスの間

ハ、支部長会

秋の支部長会は実施しない。

支部長会の代わりにメールによる役員連絡会議を定期的に開催、役員間の意思疎通を図る。



理事会の様子です。

理事会の詳細を下記します。

1. 開会
2. 会長挨拶
平成 25 年度事業計画策定に関する重点施策項目について
 - (1) 同窓会の活性化を図る
 - ① 故郷の海を愛する会を引き続き支援。又、同会の健全な運営・財政基盤確立に寄与する。
 - ② 同窓会役員に工業系出身者を起用し、仲間意識を強める。
 - ③ O B 教官を事務局員に起用する。本人業務との兼ね合いに注意。
 - (2) 同窓会資金の使途の有効化をはかる
 - ① 個別の旅費を 10% 削減
 - ② 支部交付金を一律 10% 削減
 - ③ 支部長会議は原則本年は開催しない。
 - ④ 予備費を増額し、予算の弾力化を図る。
3. 議事

議案第 1 号	平成 24 年度会務報告
議案第 2 号	平成 24 年度会計決算
議案第 3 号	平成 24 年度会計監査報告
議案第 4 号	平成 25 年度役員改選 (案)
議案第 5 号	平成 25 年度行事計画 (案)
議案第 6 号	平成 25 年度会計予算 (案)
議案第 7 号	細則の改定 (案) について
4. その他
 - (1) 事務局報告
 - (2) 各支部報告
5. 閉会

理事会は30名を超える理事の参加、総会は110名を超える会員の参加を得て、開催となり、活発な質疑応答がされ、事務局原案に沿い、全議案が承認されました。引き続き開催された懇親会では大いに盛り上がり、旧交を温め、有意義なひとときとなりました。来賓として藤田学校長、伊藤副校長、山下事務部長、内田全船協会長に参列して頂きました。

議案の会務報告、会計決算、役員改選、行事計画、会計予算等に関しては本会報の記事を参照ください。



総会の様子です。



特別顧問の藤田学校長の学校報告などです。



引き続き行われた懇親会の様子です。

同窓会 HP に記事が掲載されています。
参照ください。

http://tobacmtdousoukai.sakura.ne.jp/?page_id=1534&paged=5

②会報の発行、26 年度版会員名簿発行準備

会報：平成 25 年 9 月末日に発行

名簿：平成 26 年 1 月より作業開始

③主要活動

- ・全国商船高等専門学校カッター・レース支援
- ・母校の商船学科及び工業系学科の卒業祝賀会を協賛。
- ・全日本船舶職員協会の賛助会員として、同協会に協力。
- ・本年も合同進学ガイダンスへの協力
(広島 6/29 西日本支部・東京 6/30 東日本支部・神戸 7/15 関西支部)
- ・近藤真琴先生記念碑周辺整備事業(草刈 2 回)の実施。
- ・全国規模の体育大会出場学生及び学術コンテスト入賞学生に奨励金の贈呈。
- ・東海・北陸地区ロボットコンテスト支援。
- ・母校の海学祭に協賛する。
- ・NPO 法人故郷の海を愛する会活動支援

2014年6月8日(日)
神戸に集合しよう！

平成 26 年度
同窓会総会開催決定

平成26年版 同窓会会員名簿の編集作業が始まります。

● お願い ●

クラスメイトや
学友の情報を
お知らせください！

会報を、お届け出来ない方が大勢います。

FAXやメールで、
同窓会事務局まで！
FAX 0599-25-8128

● 広告主募集 ●

会社案内や営業案内を
載せてみませんか？

お問合せは

電話やメールで、
同窓会事務局まで！
TEL 0599-25-8045

◎編集作業開始 26年1月10日

◎発行販売開始 26年6月1日

最新のニュースや投稿された話題など 同窓会ホームページでは 随時掲載中！

<http://tobashousen-dousoukai.com>

ご投稿を待っています！

鳥羽商船同窓会 検索

事務局へのメールもトップページから送信できます

平成 24 年度会計報告

損益計算書

収入の部

自 平成24年4月1日～至 平成25年3月31日

科 目	24年度予算	決算額	予算残高
会費	3,700,000	3,703,020	3,020
入会金	80,000	38,000	-42,000
寄付金収入	1,100,000	671,080	-428,920
バナー広告収入	160,000	160,000	-
受取利息	9,000	6,313	-2,687
雑収入	350,000	304,000	-46,000
収入小計	5,399,000	4,882,413	-516,587
繰越金取り崩し額	564,340	971,653	407,313
24年度収入合計	5,963,340	5,854,066	-109,274

支出の部

科 目	24年度予算	決算額	予算残高
負担金	577,000	669,980	-92,980
総会費	1,250,000	1,132,927	117,073
会報	960,000	889,542	70,458
対外活動費	453,000	269,357	183,643
支部活動費	750,000	750,000	-
慶弔費	20,000	0	20,000
旅費交通費	500,000	858,230	-358,230
事務消耗品費	225,000	221,550	3,450
会議費	30,000	2,850	27,150
会務運営費	335,000	266,290	68,710
外部委託費	600,000	600,000	-
事務室備品償却	163,340	163,340	-
予備費	100,000	0	100,000
雑支出	0	30,000	-30,000
24年度支出合計	5,963,340	5,854,066	109,274

【備考】★1) 入会金支払38名 ★2) 大幅減
 ★3) 役員交通費含まず ★4) 残り3年
 ★5) バナー未収金損金計上

◎収入は予算に比べ約¥50万減となりました。寄付金収入が約¥40万、大幅に減ったのが響いています。故郷の海を愛する会への寄付に約¥60万流れたのがその理由です。新卒者の入会金・2年間の会費支払いが芳しくないのもその理由の一つです。

◎支出は予算に比べると約¥10万減となりました。多くの科目で予算を下回ったのですが、学生への課外活動支援金の支払い、旅費交通費が予算超過したので支出減少合計は約¥10万になりました。尚、故郷の海を愛する会への助成金は当初¥40万を予定していましたが、故郷の海を愛する会の会計で寄付金収入などが予想を超えたので、同窓会助成金は¥20万となっています。

◎結果として、繰越金取り崩し額は当初¥56万の予定が、¥97万と大幅増となりました。新卒者の入会金・年会費の納入改善、寄付金の増大を図り、支出の一層の見直し・削減が必要です。

貸借対照表

資産の部 流動資産

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
[現金・預金]			
現金	0	0	-
普通預金	2,572,100	2,106,158	-465,942
定期預金	24,457,679	24,463,708	6,029
現金・預金合計	27,029,779	26,569,866	-459,913
[他流動資産]			
仮払金	298,400	0	-298,400
未収金	120,000	0	-120,000
他流動資産合計	418,400	0	-418,400
流動資産合計	27,448,179	26,569,866	-878,313

有形固定資産

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
事務所備品	653,360	490,020	-163,340
有形固定資産計	653,360	490,020	-163,340
資産の部 合計	28,101,539	27,059,886	-1,041,653

負債・資本の部 負債

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
仮受金	0	0	0
会費預り金	4,346,000	4,168,000	-178,000
終身会費預り金	1,556,000	1,524,000	-32,000
故郷の海を愛する会	0	140,000	140,000
負債合計	5,902,000	5,832,000	-70,000

剰余金

勘定科目	期首金額	期末金額	比較増減
別途積立金	20,000,000	20,000,000	0
繰越利益	2,199,539	2,199,539	0
当期純損益金額	0	-971,653	-971,653
剰余金合計	22,199,539	21,227,886	-971,653
負債・純資産合計	28,101,539	27,059,886	-1,041,653

【備考】★1) 受取利息計 6,313円
 ★2) 来期繰越 1,227,886円

会計監査報告

平成 24 年度期初、期末の銀行等の残高証明、会員名簿等の手持ち残、手持ちの現金の確認を行い、今年度収支に関しては領収書、金銭出納帳、各銀行などの出納記録と照合して監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

平成 25 年 5 月 31 日
 会計監査 飛田 喜八郎
 会計監査 川口 心也

平成 25 年度予算

収入の部 自 平成25年4月1日～至 平成26年3月31日

科 目	24年度実績	25年度予算	前年対比
会費	3,703,020	3,751,000	47,980
入会金	38,000	80,000	42,000
寄付金収入	671,080	860,000	188,920
バナー広告収入	160,000	160,000	-
雑収入	304,000	300,000	-4,000
受取利息	6,313	5,608	-705
収入小計	4,882,413	5,156,608	274,195
繰越金取り崩し額	971,653	392,933	-578,720
合計	5,854,066	5,549,541	-304,525

支出の部

科 目	24年度実績	25年度予算	差額
負担金	669,980	565,000	-104,980
総会費	1,132,927	1,177,893	44,966
会報	889,542	890,520	978
対外活動費	269,357	417,000	147,643
支部活動費	750,000	670,000	-80,000
慶弔費	-	50,000	50,000
旅費交通費	858,230	465,000	-393,230
事務消耗品費	221,550	221,550	-
会議費	2,850	5,000	2,150
会務運営費	266,290	194,238	-72,052
外部委託費	600,000	600,000	-
事務室備品償却	163,340	163,340	-
予備費	-	130,000	130,000
雑支出	30,000	-	-30,000
支出合計	5,854,066	5,549,541	-304,525

【備考】★1) 故郷の海への全船協支援金160,000円を含む

★2) 故郷の海 (200,000+160,000円) を含む

◎収入は昨年度に比べ、約 30 万増えると見込んでいます。

(内、¥16 万は全船協の故郷の海を愛する会への助成金)

◎支出は昨年度に比べ約¥30 万減少させる計画です。

(故郷の海を愛する会への全船協の助成金¥16 万を含んでいるので、正味は約¥46 万減少となります。)

予備費として¥13 万計上していますが、負担金¥10 万、旅費交通費¥40 万、支部活動費¥8 万など昨年度より減少させる計画です。

旅費交通費は実費の 90%を上限としました (1 割カット) 支部長会はメールによる役員連絡会議を行うことで今年は開催しない事としました。支部活動費も 1 割カットしました。事務室備品償却¥163340 は今年で 4 年目となり、残りはあと 2 年となります。

◎この結果として、平成 25 年度では繰越金取り崩し金額は約 40 万となります。

平成 25 年度 同窓会役員・理事

本 部

会 長	菱田 司 S35E	事務局長	江崎 隆夫 S44E
副会長	山田 岑生 S37E	事務局	武部二三男 S38N
	藤本 昌之 S42N		溝井 昇 S42E
	田中 三郎 S42N		三井 健次 S43E
	金田 護 S42N		八木 菊平 S43E
	菅沼 延之 S48N		川原 伸次 S44N
相談役	松本 暢生 S26N		山口 伸輔 S48N
	桑嶋 收平 S31N		畑 辰幸 S51N
	菅原 昌男 S33N		北端 大志 H8N
	松浦 肇 S36N	学校連絡	江崎 修央 H4M
	中澤 昌信 S37N		
会計監査	飛田喜八郎 S36E		
	川口 心也 S40E		

は新任

名誉顧問	落合 弘明 元同窓会長
特別顧問	藤田 稔彦 学校長
	伊藤 文雄 副校長
	山下 文一 事務部長

支 部

北海道支部 2 (2)	伊勢志摩支部 1 3 (13)
支部長 奥田 宣夫 S48E	支部長 古川 昭一 S30E
理事 吉田 均 S49N	理事 山神慎之亮 S30E
東日本支部 1 0 (10)	大西 彰夫 S36N
支部長 水野 正治 S43N	武部二三男 S38N
理事 菱田 司 S35E	金田 護 S42N
岩田 仁 S38E	溝井 昇 S42E
田中 三郎 S42N	三井 健次 S43E
大橋 泰夫 S48N	江崎 隆夫 S44E
大橋 秀章 S49N	川原 伸次 S44N
菅原 秀樹 S51N	山口 伸輔 S48N
星野 芳昭 S52E	塩野 明俊 S56E
桜井 薫 S54N	上村 健太 S63E
真治 正章 H8N	江崎 修央 H4M
中部支部 6 (6)	関西支部 7 (7)
支部長 加塚 伸吾 S52E	支部長 籠田 弘之 S39N
理事 竹川 俊幸 S42E	理事 藤本 昌之 S42N
小林 正司 S43N	岡崎 和清 S48E
菅沼 延之 S48N	澤 裕之 S53E
宗接万太郎 S48N	村田 佳久 S55N
荻野 武彦 S53N	国安 政幸 S58N
四日市支部 4 (4)	福田 美和 H7N
支部長 室 博也 S55N	西日本支部 2 (2)
理事 中澤 昌信 S37N	支部長 山下 文徳 S41E
山田 岑生 S37E	理事 中野 正義 S41N
西井 育央 S61E	

同窓会の活動

母校の発展と海事思想普及の為、同窓会が主催若しくは協力して以下の活動を行いました。今後とも同様の活動を継続して行いたいと考えます。
同窓会ホームページに関連記事がありますのでご覧ください。

2012年9月以降

商船学科卒業式謝恩パーティ

9月25日に開催された卒業式ののち謝恩パーティが開かれました。卒業生全員が嬉しそうです。
伊勢志摩支部長の古川氏が万歳三唱を行いました。



記念碑周辺草刈り実施

11月10日恒例となりました年に2回の記念碑周辺の草刈りを実施しました。夏の終わり頃に学校側で一度草刈りを実施してくれていたため今回は比較的楽な草刈りとなりました。

朝6時過ぎから作業を開始してくれた人も含め、又、学校の山下事務部長も含め、合計12名が参加し、昼ごろに終了となりました。

海学祭開催

11月18日母校にて学生主催の海学祭が盛大に開催されました。

17日の前夜祭では大雨でしたが、18日は風が強かったもののいい天気でした。多くの来客を集め、催し物・模擬店などを楽しんでもらいました。同窓会では昨年に引き続き、武部理事の「長老庵」そば店開店、CD・Tシャツなどの販売、百周年記念館の開放と案内等を実施、夫々成功裏に終わりました。

海学祭で長老庵そば店開店

同窓会から武部理事の「長老庵」そば店を出店、伊勢志摩支部の理事と奥さまの協力を得て、多くのお客にいいおそばを楽しんでもらいました。大根おろし、長



いも、なめたけの3段割子そば、¥500、大人気でした。昨年からお店を始めましたが、昨年も来店してくれた方もいて（リピーターですね）、それぞれ、お客様にはおそばのおいしさを堪能していただいたようです。おそばを準備した武部ご夫妻に感謝です。又、協力いただいた理事の方々、奥様方、お疲れ様でした。

海学祭で百周年記念館案内

18日の海学祭で百周年記念館を松本相談役など同窓会会員が来客を案内しました。

100名をはるかに超える多くの来客があり、記念館に用意された学校の歴史、教材、校祖近藤真琴の記録、等を見ていただきました。

受験を控えた父兄の方々、母校学生の保護者、同窓生などが来場されたようです。

同窓会として初めての試みでしたが、多くの来客があり、母校の歴史・近藤真琴を知ってもらい、有意義であったと考えています。



海王丸出帆 訪船・激励

練習帆船「海王丸」ホノルルへ出帆

1月12日（土）14時、鳥羽商船訓練生（N15名 E3名）は、遠洋航海実習に旅立ちました。

菱田同窓会会長と同窓OBが鳥羽商船訓練生を訪船・激励、訓練生代表 野原淳紀さんに激励品を贈呈しました。

快晴の空のもと、多数の見送りの方々に向けられた登艦礼、いつものことながら、見事！感動しました。今年、鳥羽商船受験を考えている子供の姿もありました。きっと、心に残ったことと思います

海王丸 どんな航海になるのでしょうか・・・
貴重な体験で大きく成長し、2ヶ月後、無事に帰港することを祈念し、同窓生一同、その雄姿を見送りました。



2013年1月12日
「海王丸 出帆式」訓練生訪問・激励

工業系学科卒業式・専攻科修了式

3月5日母校において平成24年度電子機械工学科並びに制御情報工学科の卒業証書授与式、生産システム工学専攻科修了証書授与式が行われ、電子機械工学科25名、制御情報工学科36名、専攻科13名がめでたく卒業となりました。

同窓会から菱田会長が来賓として祝辞を述べ、山田副会長、古川伊勢志摩支部長等同窓生数名が参列しました。同窓会は新たな会員の加入を歓迎し、若い同窓生の活躍を願っています。



2013年度

入学式で百周年記念館開放

4月4日の入学式の際、同窓会では新入生の保護者の方々に百周年記念館を公開しました。



戦没・殉職船員追悼式、終戦記念日献花式

公益財団法人日本殉職船員顕彰会より第36号「潮騒」を受け取りました。その中に5月15日に行われた第43回戦没・殉職船員追悼式の記事が掲載されていました。我が同窓生も多くの方が奉安されています。鳥羽商船同窓会は協賛会員であり、毎年追悼式に献花を行っています。

記念碑周辺の草刈り

5月27日朝9時から恒例になった母校記念碑周辺の草刈りを本部事務局、伊勢志摩支部有志10名で行いました。

曇り空と学校から借用した大型草刈り機2台、その他機器のおかげで、作業は大幅にスピードアップとなり、高齢者が殆どの参加者は大いに助かりました。草刈り後の参加者の写真を添付します。やや疲れの表情が見えますね。次は秋となります。



商船高専合同進学ガイダンス

6月29日広島で、6月30日東京で、7月15日神戸で商船高専合同進学ガイダンスが開催され、同窓会では夫々の地区の支部長他有志が応援に駆け付けブースを盛り上げました。

「学校だより」並びに「関西支部だより」参照して下さい。



山下文徳 専攻科機関科、1968年卒

(株) ムロオ、顧問



私達が商船学校へ入学したのは丁度半世紀前、堀江氏のヨットでの太平洋単独横断やキューバ危機のあった年です。当時の日本人はまだまだハングリーであった時代でした。卒業後は日本郵船に就職、その後物流業界で約32年、今や当社は要冷蔵食品の取扱では西日本最大手の企業に成長し、長年培ったノウハウと経験が人々の暮らしを支えています。商品の流通機能を一括して請負う「3PL」分野でも、かなりの実績を持っています。当社では「やる気満々」な人材を広く求めています。そして又、多くの会社と同じように「覇気」と「競争心」を採用の最重要な項目として掲げております。諸君も自分の力で人生航路を切り開いてください。

山岡栄太 制御情報工学科、第1期卒 1993年
(株) イーウェル、情報システム本部長



私は、企業で働く従業員の皆様が健康で豊かな人生が送れるよう、福利厚生サービスを通じて従業員およびその家族の皆様々にサービスを提供している会社に勤務しております。システムの開発は自社開発を行っており、100名近くのシステムエンジニアと共に、日々成長の毎日をおくっております。このような大きな仕事ができるのも高専時代に経験した実践的なプログラミングの経験ができたからだと思っております。大変感謝しています。

今、高専で在学中の皆さん、またこれから高専に行こうと思っている皆さんへ、高専は高度な知識と知恵が学べるいい現場です。社会人になると自分に使える時間がとても少なくなります。学生時代は、時間を無駄に過ごすことなく、よく学び、よく遊び、そして恋愛もしてください。そうやって社会に貢献できる人になれるよう頑張ってください。

NPO 法人 ^{ふるさと} 故郷の海を愛する会

会長 古川 昭一 (S30E)

NPO 法人化について

6月9日名古屋で開催された定期総会に於いて、特定非営利活動法人(NPO法人)格取得が承認されたので、速やかに法人登記手続をおこないました。

任意団体であった当会を特定NPO法人化するに至った経緯について紙面を借りて説明させていただきます。

日本財団の助成金を柱に、母校、同窓会本部及び伊勢志摩支部、同窓会員、ボランティアの方々の支援を得て3年間「故郷の海を愛する会」として活動してきましたが、23年度で日本財団の助成金が終了しました。

会員は、手応えを感じ育ててきたこの組織と活動を発展継続していく意欲に燃え、多数の方々の支援で昨年度第4回事業を成功裏に継続する事ができました。

しかしながら、最大の問題点は資金の調達であります。安定した資金の調達として、新たな公的、民間の助成金、補助金の開拓、より一層の力強い同窓会の支援、また同窓会員に限らず幅広く当会の目的に賛同した会員を募集し会費収入及び会員からの寄付金を得る事です。

さらに今後とも当会を発展させ永続性を保っていくには、社会的認知信用も重要であり、組織や活動のルールの明確化(定款)、事業計画、事業報告、会計等の情報公開は不可欠であります。

今までの任意団体での鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部主体の組織では限界を感じ、特定非営利活動法人(NPO法人)格取得が最善策であろうとの意見の一致を見て取得申請に至りました。NPO法人格の取得は当会の活動目的を達成する為の手段や道具であり、今迄以上に同窓会の支援とご理解無くして成り立つものではありません。

ご承知の事とは思いますがNPO法人について簡単に説明します。

NPOと特定非営利活動法人(NPO法人)との違いは、NPOはNon Profit Organization(民間非営利組織)の略称です。社会的な課題を解決するために活動する民間非営利団体と自称すればどのような組織でもNPOと名乗る事ができます。

NPO法人は、所轄庁の認証、法務局への登記がないと名乗れません。

行政府の認証を得た法人と任意団体、営利会社とは印象はやはり違ったものになります。とくに会社など営利法人と異なってNPO法人は儲けのためにやっているのではない、公の利益のために活動しているというイメージが強いため、地元の新聞やタウン紙に取り上げられることもよくあります。

つまり県の認証を受けた法人名を付ける事により、それだけである程度の社会的信用を得る事ができます。

法人名義の貯金通帳、財産、負債等、任意団体では代表者名義となるものが法人名義とすることができる等のメリットがあります。また本会をNPO法人化することにより、同窓会は主体から外れ、事故やトラブルの責任問題のリスクを軽減、あるいは回避できると考えられます。学校教職員、学校事務関係者、一般の会員の加入により会の活性化が図られます。

法人にすることによる義務も生じます。NPO法人の

義務の大きなものは、事業年度終了後に事業報告書や収支計算書、定款、理事の変更などの書類を出さねばなりません。また開示要求があれば閲覧させなければなりません。

今年度第5回故郷の海を愛する会のイベントで、7月27日全船協内田会長、岩田副会長、同窓会菱田会長にはその活動を見ていただきました。また8月7日に地元商業施設での広報告知活動を行い、夏休み第2弾イベントを8月20日大盛況で終えました。この後、海学祭で校祖近藤真琴翁の紹介活動、12月末に第3回目のイベントを計画しています。

私たち若かりし寮生が海への憧れとともに歌った船歌の一節に「夜毎の夢は故郷の野を将山を繞れども……」の一節があります。青春時代の海、池ノ浦、錦ヶ浦、伊勢湾を、故郷の海を思い出すことはありませんか？

先輩諸兄のご理解とご支援をお願いします。

「故郷の海を愛する会」定款 第2章 目的及び事業で、第3条 この法人は、主に県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

と定めております。

「海のロマンス」を求める多くの優秀な子供たちが、母校を目指してくれる事を願ってやみません。

なお、定款、設立趣旨書、事業計画、事業予算書、等は三重県庁HP NPO課もしくは日本財団CANPANにて閲覧できます

活動の報告

「故郷の海を愛する会」の活動報告については、同窓会HPをお借りしてお知らせしております。また日本財団が提供する公益事業のコミュニティサイトCANPANブログでも見る事が出来ますが、インターネットを使われない方もいらっしゃると思われますので、紙面を借りて会報では未報告の昨年末のイベントから紹介させていただきます。

2012年12月15日 2012年度活動その③

「商船学校の歴史・船と海の話」が鳥羽・志摩・伊勢・松阪等から50名の小中学生の参加を得て実施されました。朝から生憎の雨天で欠席者が出るかと危惧しましたが、嬉しい事に全員の参加となりました。内訳は、中学生14名小学生36名。男子32名女子18名。鳥羽市18名志摩市12名伊勢市9名松阪市4名。玉城町4名明和町2名亀山市1名でした。

ボランティアは同窓生13名、参加者父兄8名に加え母校から13名の学生と先生方が協力してくれました。

活動の内容は以下の講演と体験でした。

「伊勢湾で働く海のパイロット」

講師 伊勢三河湾水先区水先人会 小林司さん(S43N)

「ロボットの目をつくる！」

講師 商船学校准教授 江崎修央さん(H4M)

「海の安全について」

講師 鳥羽海上保安部交通課 土田康二さん

CAD/CAM 実験室で「Kinect アプリで遊びましょう」
白菊寮食堂で「たこのハっちゃん」

実演（高専ロボコン全国大会出場）

内燃機関室で「ディーゼルエンジンを動かそう」
操船シミュレータ室で巨大船を操船しよう」

現役パイロットが説明・指導してくれました。
子供たちには船や海を知るいい機会になったと思っています。

後日参加した中学生から小林キャプテンの講演を聞き私は将来の目標が決まりました、水先案内人になります、早速受験願書をもらいに行きました、とのハガキがありスタッフ一同大変うれしく思いました。



2013年7月27日 2013年度活動その①

小中学生44名の参加を得て、故郷の海を愛する会2013年活動その①「練習船鳥羽丸で行く造船所見学と故郷の海山川」が実施され、無事終了しました。

子供達は鳥羽丸の船橋で海図の見方、レーダーでの船の位置の出し方、操船の仕方など、機関制御室では船がどうして進むのか、電気はどのように作られるのかなど、更にロープの結び方も学びました。又、海や山を眺め、船の航海を楽しみました。

津のJMU造船所では大型船の建造、どのような船が作られているか、何を運んでいるか、勉強になったと思います。少し船酔いなどした子供もいましたが、怪我もなく無事終了しました。

JMU造船所、鳥羽商船高専、練習船の乗組員、ボランティアの皆さんのご協力に感謝します。

又、日本中小型造船工業会、全日本船舶職員協会の御支援にも感謝いたします。



NPO法人 故郷の海を愛する会の広報・イベント参加募集

実施日時：2013年8月7日09:00～17:00

実施場所：イオン明和店

目的：

1. 「NPO法人 故郷の海を愛する会」とその活動を地域の人に知ってもらう。

2. 活動その②の参加者募集。

会員全員鳥羽商船同窓会のTシャツを着て募集活動を行いました。8名が参加。イオン店は三重県の南勢地区では最大の商業施設であり、映画館も併設しているので多くの来店があります。7日は夏休みのウィークデイであり、母娘連れが多くみられました。会員は小中学生連れを対象に積極的に声かけを行い、掲示している活動実績写真などを多くの方々に見て頂きました。今回のような活動は初めてで、故郷の海を愛する会の活動を知ってもらい、多くの人々に興味を持ってもらうには、非常に有効と思います。



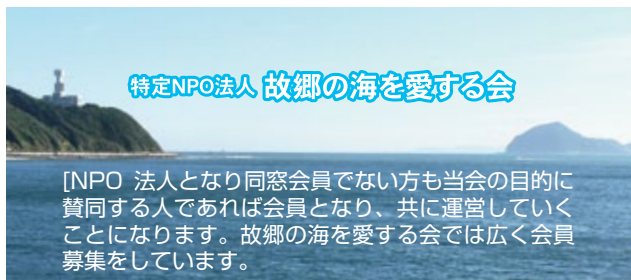
2013年8月20日 2013年度活動その②

地域の子供達85名の参加を得て、「四日市港見学と川越火力見学」は、四日市港管理組合、中部電力、その他のみなさまの協力のおかげで、無事、成功裏に終了しました。「ゆりかもめ」による四日市港見学、四日市ポートビルのうみテラス14での四日市港の勉強とその眺望を楽しみ、川越火力ではLNG火力発電所の説明を受け、電力館テラ46でいろんな事を学びました。子供達はクイズ（問題）も与えられ、積極的に職員に質問をしたりして、船の事、港の事、電気の事、を学びました。楽しく充実した一日となったことでしょう。四日市支部長をはじめとする同窓会の方には大変お世話になりました。



会員募集中

正会員に応募して下さった、松阪市在住の大櫛氏は、我武者羅に仕事・仕事・商売・商売と40年間走って来たが、ふと今まで無償で社会の為、人の為とかあまりやってないけど、これでいいのだろうか？と思うことがあった。そんな時、孫と一緒にこの会が主催するイベントにボランティアとして参加する機会を得、子供たちの元気な生き生きとした姿を見てみると、子供たちに夢を与えるこんな事業に参加したいと、でも鳥羽商船を出ていないと入会できないのではと思ったが誰でも入会できると聞き入会したとおっしゃっていました。



設立趣旨書

今の子供達は、日本が四辺を海に囲まれた国である事は知っている様ですが、この海からどのような恩恵を受けて成り立っているか、知らない事が多くあります。

普段、海に関する話としてメディアから入る情報に良いものが多いとは思えません。又、直接海に接する機会もそれ程多くありません。海釣り・潮干狩り・海水浴とごく身近な所のものしかありません。

「故郷の海を愛する会」は子供達に対し、日本の海と、その海がどのように世界に繋がりが広がって行くのかを、遊びの感覚で知識を与え、遊びを通じて体験する事により、素晴らしい日本と日本の海を認識し、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させることを目標とします。

法人認証 平成25年6月 7日
法人登記 平成25年6月11日
法人所在地 三重県鳥羽市
活動分野 社会教育、学術、環境、国際、子ども、情報化社会、科学技術

目的

この法人は、主に県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

会員募集

「定款」第3章 会員
第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員を持って法上の社員とする。
(1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
(2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体

会員種別	会 費	内 容
☐ 正会員	年会費 1,000円	・この法人の目的に賛同して入会し、運営に参加する個人又は団体 ・総会での決議権があります
☐ 賛助会員	年会費 なし	・この法人の目的に賛同して入会し、活動に協力する個人又は団体 ・総会での決議権なし



特定NPO法人 故郷の海を愛する会

会長 古川昭一

みなさまのご厚意を頂戴し、25年度夏休みイベントを安全・盛大に終了できました。

ご賛同寄付ご芳名

松本 暢生	\$26N	20,000	大西 彰夫	\$36N	20,000	井上 民規	\$43N	2,000
江頭 昭雄	\$30N	5,000	長谷川雅昭	\$36N	10,000	小甲 和己	\$43N	30,000
佐藤 善喜	\$30N	5,000	齊藤 正	\$36E	10,000	小林 司	\$43N	20,000
徳島 博	\$30E	5,000	武部二三男	\$38N	4,000	水野 正治	\$43N	15,000
久我 正	\$30E	10,000	家田 和良	\$39N	10,000	三井 健次	\$43E	10,000
古川 昭一	\$30E	13,000	井上 道彦	\$40N	10,000	江崎 隆夫	\$44E	5,000
荒井美喜三	\$30E	10,000	坂崎 清	\$40N	9,000	菅沼 延之	\$48N	50,000
山神慎之亮	\$30E	10,000	三村 徳蔵	\$40N	20,000	畑 辰幸	\$51N	10,000
青木 孝之	\$30E	10,000	中川 敏	\$40N	30,000	畑内 康孝	\$52N	20,000
桑島 收平	\$31E	10,000	鴨志田清敏	\$40E	5,000	藤田 稔彦	学校長	50,000
福岡 健彦	\$33N	10,000	川口 心也	\$40E	29,000	榊中央印刷	志摩市	10,000
尾鷲 鋼三	\$33E	30,000	山下 文徳	\$41E	10,000	悠久商事株	\$53E	10,000
菱田 司	\$35E	10,000	中野 正義	\$41E	3,000	榊島ヤンマー	\$44E	30,000
松浦 肇	\$36N	4,000	金田 護	\$42N	20,000			

24/9/1~25/8/31迄のご芳名です

学校だより

平成24年9月～平成25年8月

◎年間行事（暦順に掲載）

校内体育大会を開催

平成24年11月7日（水）に行いました。

当日は晴天に恵まれて、学生ははつらつとしたプレーを繰り広げていました。クラス対抗でバレーボールほか全6種目が行われ、日頃からのチームワークを発揮して、大きな怪我もなく思う存分楽しんでいました。

校内マラソン大会を開催

平成24年11月28日（水）に全学生参加の校内マラソン大会が開催されました。

校内マラソン大会は、堅神町内を周回する男子7キロ、女子5キロのコースで行われました。

参加学生は、男子458名、女子73名で、当日は好天にも恵まれ、全員が完走することができました。

平成24年度学生表彰の表彰式を実施

平成25年1月7日（月）の全校集会時に今年度第2回目の学生特別表彰、奨励賞、及び読書奨励コンクールの表彰式を実施しました。

表彰学生は、以下のとおりです。

特別表彰

- ・第67回国民体育大会セーリングの部
（少年男子セーリングスピリッツ級）に出場
ヨット部 商船学科3年（2名）
- ・第67回国民体育大会セーリングの部
（少年男子シーホッパー級スモールリグ）に出場
ヨット部 制御情報工学科3年
- ・アイデア対決・全国高等専門学校ロボット
コンテスト2012に出場
ロボコンBチーム 電子機械工学科5年
- ・三重県少林寺拳法大会（一般女子の部）で4年連続最優秀賞
少林寺拳法全国大会（三重県代表）に出場
少林寺拳法部 電子機械工学科3年

奨励賞

- ・20回衛星設計コンテスト（アイデアの部）で奨励賞を受賞

実習生、電子機械工学科5年、制御情報工学科4年、電子機械工学科4年、商船学科3年

読書奨励コンクール

- ・1位 電子機械工学科2年
- ・2位 電子機械工学科1年
- ・3位 商船学科1年

フェリー体験乗船に参加

平成25年1月12日（土）～14日（月）に本校商船学科3年生の希望学生17名が船員職業体験乗船に参加しました。

この体験乗船は、内航海運の航海士、機関士の仕事を実際に体感することで、学生たちが内航船員への関心を高めることを目的として行われています。

今回は、瀬戸内海を航行する内航フェリーに乗船し、荷役、出入港作業、操船等を見学・体験をさせていただきました。参加学生たちは、実際に運航をしているフェリーの現場を見学するのが初めてであり、最後に行われた懇談会では、乗船中に疑問に思ったことを学生が船長、機関長に質問する場面もありました。

練習船鳥羽丸、名古屋港にて帆船「海王丸」のセイルドリル見学航海を実施

航海訓練所の大型帆船「海王丸」の名古屋港寄港に合わせ、11月10日～11日の二日間、本校練習船「鳥羽丸」の一般公開と「海王丸」のセイルドリル（帆を張りたむ作業）の見学航海を実施しました。

11月10日に「海王丸」のセイルドリルが披露され、一般募集の見学者65名が「鳥羽丸」にて洋上から、本校商船学科志望中学生16名が、「海王丸」船上からセイルドリルを堪能しました。なお、「海王丸」に乗船した中学生の皆さんには、船内各所や実習生の訓練を見学していただきました。

また、「鳥羽丸」一般公開では二日間で539名の見学者がありました。

今回の運営や説明には、商船学科3、4年生及び専攻科生の全30名が携わりました。



第47回鳥羽商船海学祭開催

11月18日（日）海学祭の一般公開、また同時に進学相談会も行われました。

みえサイエンスフェスタで「おもしろ理科実験」、「高専ロボコンがやって来る」

12月8日（土）に、鈴鹿文化会館で「みえサイエンスフェスティバル」が開催されました。本校からは、ワークショップ「おもしろ理科実験」を化学の澤田教員と学生2名が行い、「高専ロボコンがやって来る」ではロボコン全国大会に出場した「たこの八ちゃん」のデモンストレーションを学生4名が行いました。両ブースには多くの親子連れが立ち寄り、子ども達はキーホルダーやビーズ絵作成に没頭したり、八ちゃんを操縦して歓声を挙げたりしていました。

「みえサイエンスフェスティバル」は、鈴鹿高専が主催し、鳥羽商船および三重大学の高等教育機関と、鈴鹿市、伊勢市や志摩市などの地方自治体が共催する「みえサイエンスネットワーク」（科学技術振興機構の科学技術ネットワーク事業）の一環として開催されました。各種イベントを通じて、子ども達に科学技術に関心を持つ

てもらい、地域を担う未来人材になってもらうことを目的としています。



第7回 子育て応援！わくわくフェスタに参加

平成 25 年 2 月 16 (土)、17 日 (日) に「第 7 回子育て応援！わくわくフェスタ」が三重県営サンアリーナ(伊勢)で開催され、本校も出展しました。

わくわくフェスタは、子供や子育てで家庭を支える目的で開催されています。今年は、120 団体の出展があり、二日間で 2 万 7000 人もの方々が訪れました。

本校は「磁石とコイルの〇〇〇な関係!」を出展しました。訪れた子どもたちは、本校の山下教員と学生スタッフの指導のもと、目に見えない電気の流れや磁石の力を身をもって体験し、興味津々。また、身近な素材でクリップモーターを作る教室では、夢中になって工作に取り組み、完成したモーターが動くと、不思議そうに覗き込んでいました。

平成 24 年度 電子・制御卒業式並びに生産システム工学専攻修了式を挙

爽やかに晴れ渡る平成 25 年 3 月 5 日 (火)、平成 24 年度電子機械工学科・制御情報工学科卒業証書授与式並びに生産システム工学専攻修了証書授与式を挙りました。

藤田校長から電子機械工学科 25 名、制御情報工学科 36 名へ卒業証書を、専攻科生産システム工学科専攻 13 名へ修了証書が手渡されました。

藤田校長から卒業生らに対し「皆さんがそれぞれどういう道に進むにせよ、本校で学んだことを誇りとし、自信をもってこれからの人生を歩んでいただきたい」と祝辞が述べられました。続いて、来賓である斎藤鳥羽市教育長、菱田同窓会長、小堀奨学後援会長より、ご祝辞をいただきました。

また、在学生の代表として制御情報工学科 4 年小山恵理さんから送辞があり、卒業生代表、制御情報工学科山本孝友さんと修了生代表小西優作さんから答辞が読み上げられました。

また、在学中における功績として、優秀賞、皆勤賞、精勤賞、一般社団法人日本機械学会畠山賞の授与が行われました。

式の最後には校歌斉唱が行われ、卒業生・修了生を祝福しました。

卒業生・修了生は、鳥羽商船高専での思い出を胸に、晴れやかな姿で本校を巣立っていきました。



平成 25 年度本科並びに専攻科(生産システム工学専攻)入学式を挙

平成 25 年 4 月 4 日 (木) 本校第 2 体育館において平成 25 年度本科並びに専攻科の入学式を挙りました。

商船学科 43 名、電子機械工学科 40 名、制御情報工学科 43 名の計 126 名の本科新入生を迎え、生産システム工学専攻に 13 名の進学者を迎えました。

式では、藤田校長の入学許可の後、「実践的な工学の知識と技術を身につけ、創造力とリーダーシップを備えた逞しい人間に育っていただきたい」と式辞を述べられ、入学生代表宣誓では、新入生を代表して電子機械工学科と生産システム工学専攻の入学生からそれぞれ、新しいスタートにあたっての抱負が読み上げられました。



伊勢湾・三河湾スナメリ観察クルーズを実施

5 月 11 (土)、12 日 (日) の 2 日間にわたり、鳥羽水族館、三重大と合同で「伊勢湾・三河湾スナメリ観察クルーズ」を実施しました。土曜日は 26 名、日曜日は 27 名の一般参加者とともに、本校教員や学生、鳥羽水族館の飼育員らが本校練習船「鳥羽丸」に乗船し、池の浦湾を出航しました。

参加者たちは、鳥羽丸船長や鳥羽水族館の飼育員から説明を受けた後、船橋や甲板に立ち、潮風を感じながら大海原を熱心に観察していました。伊勢湾へと出たあたりで最初のスナメリを発見し、その後も水面上に姿を現すたびに船内から歓声が上がりました。また、鳥羽丸船内の装置や本校学生が作業する姿を見学していただき、船舶や航海にも興味をもっていただけました。

鳥羽商船高等専門学校ホームページ

<http://www.toba-cmt.ac.jp/>



「津波災害に関する講演会」を実施

平成 25 年 6 月 7 日（金）に、自衛隊三重地方協力本部伊勢地域事務所の矢内博之所長を講師として、「津波災害に関する講演会」を実施し、1・2 年生全員と多数の教職員が講演を聴きました。

実際に、東日本大震災の救援・復興活動を行われた方の講演を聴き、さらに防災意識が高まりました。



国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンスを開催

一般社団法人日本船主協会主催の「国立高等専門学校（商船学科）5校合同進学ガイダンス」が6月29日（土）に広島、30日（日）に東京、7月15日（月・祝）に神戸、8月10日（土）に仙台の4会場で開催され、中学生、保護者および教師等、4会場で総計200名以上の参加がありました。

みえアカデミックセミナー 2013 で講演

平成 25 年 7 月 28 日（日）に三重県生涯学習センターが開催する、「みえアカデミックセミナー 2013」が三重県総合文化センターレセプションルームにおいて開催されました。

このセミナーは、県内の大学、短期大学、高等専門学校など、高等教育機関が連携し、各校の研究紹介や日常的な課題について公開セミナーを行うものです。

本校からは、商船学科 渡辺幸夫准教授が「海が持つエネルギーから電気をつくる」の演題で講演しました。

洋上風力発電や波力発電、潮流発電など、海が持つエネルギーを利用した様々な発電方法や研究開発状況が解説され、聴講者からは「原発や化石燃料に依存しない社会は可能か？」等、活発な質疑が行われました。

本校練習船「鳥羽丸」四日市港祭りに参加

8月4日（日）に四日市港ポートビル周辺にて四日市港祭りが開催されました。

カッター大会の運営および補助を行いながらカッターレースに参加し、入賞することができました。

鳥羽丸では本校 PR を兼ねて海洋体験教室（一般公開および体験航海）を実施しました。猛暑の中、小さなお子さんから年配の方まで 500 人を超える方々に鳥羽丸を見学していただき、大盛況のうちに終了しました。

◎各種コンテスト

全国高専プログラミングコンテストで企業賞を受賞

10月13日14日に福岡県大牟田市で開催された全国高専プログラミングコンテストの課題部門において、制御情報工学科の「おどリンク」チームが企業賞（ネクストウェア特別賞）を受賞しました。「おどリンク」は、盆踊りをはじめとする地域に伝わる踊りの伝承をサポートするシステムで、Microsoft の Kinect を用いた踊りの評価機能を搭載しています。また、競技部門にも「サイですか」チームがエントリーしました。

ロボットコンテスト東海北陸地区大会で準優勝 全国大会出場決定

平成 24 年 10 月 14 日（日）に福井県越前市で開催された「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2012」の東海北陸地区大会において、卒業研究チームの鳥羽商船 B（ロボット名「たこの八っちゃん」）が準優勝しました。優勝は逃しましたが、審査員推薦により、11月25日（日）に東京都の両国国技館で開催される全国大会に出場することが決定しました。全国大会出場は 2004 年以來 8 年ぶりの快挙です。

第 20 回 衛星設計コンテストで「奨励賞」を受賞

11月10日（土）、第 20 回衛星設計コンテストの最終審査会が JAXA 宇宙科学研究所（相模原市）で開催されました。本校が参加したアイデア部門には約 20 件の応募があり、6 チームが論文形式の一次選考を通過し、最終審査会で本校は「奨励賞」を受賞しました。

本校のチーム（商船学科（機関）5 年・吉村美紅さん、電子機械工学科 5 年・中西雄大君、制御情報工学科 4 年・小山恵里さん、電子機械工学科 4 年・岡崎研人君、商船学科（航海）3 年杉浦秀哉君の 5 名）は、「宇宙で淹れたてのコーヒーを！」というテーマでアイデアの部に参加しました。無重力下の宇宙船内で地上と同様に美味しいコーヒーを淹れる方法を考案し、これで長期滞在する宇宙飛行士にリラックスしてもらおうというものです。将来はこれを無重力での固液抽出技術に発展させ、宇宙化学工場を作ることに夢を膨らませて発表しました。

専攻科学生が優秀論文賞受賞

11月22日（木）に日本航海学会 第 7 回 学生講演会が長崎大学で開催され、本校の専攻科海事システム学専攻 2 年の竹内星弥君が「ジャイロローターを利用した風力推進船に関する基礎的研究」の題目で講演し、優秀論文賞に選ばれました。

高専ロボコン全国大会出場

11月25日(日)に、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012」全国大会が東京都墨田区の両国国技館で開催され、本校から地区大会を勝ち抜いた卒業研究チーム(ロボット名「たこの八っちゃん」)が出場しました。

結果は僅差での初戦敗退となりましたが、奨励賞を受賞しました。

**アプリ開発コンテストにおいて優秀アプリ賞準優勝及び指導教員賞を受賞**

マイクロソフト・国立高専機構IT共同教育プロジェクトアプリ開発コンテストで、生産システム工学専攻1年の齋藤 航君が、優秀アプリ賞準優勝を受賞しました。本コンテストは、アプリケーションの開発を通じ、参加学生のITスキルの向上、企画力、プログラミング力等の育成を目指すために行われ、Windowsストアをターゲットに、そのレビュー数や登録数等を競う、というものです。受賞作品名は「ダイエットプランナー」です。併せて、制御情報工学科江崎修央准教授が、指導教員賞を受賞しました。

2012年度全国高専女子フォーラム最優秀ポスター発表受賞

3月26日(火)東京の一橋講堂で開催された2012年度全国高専女子フォーラムで制御情報工学科の学生が最優秀ポスター発表賞を受賞しました!

これは全国高専女子学生約8000名から選ばれた87名の優秀な学生たちによる専門分野、研究、クラブ活動、国際交流、地域イベント参加など様々な分野での活動内容のポスター形式での発表で、高専女子学生の質の高さを社会に情報発信する目的で開催されました。その中で鳥羽商船の学生の発表が最も優秀であると評価されました。

発表した内容は、制御情報工学科の5名の学生によって開発した「カガクサク」という携帯端末向けアプリです。当日は、代表として制御情報工学科4年生島影瑞希さんと2年生栗原亨穂さんが発表を行いました。

Imagine Cup Windows8 チャレンジ部門で優秀賞を獲得!

4月7日に日本マイクロソフト本社において、Imagine Cup 日本大会が開催されました。

Imagine Cup は、マイクロソフトが国際競争力のある人材育成の場として提供している、学生のためのITコンテストで、ビルゲイツの発案で2003年にスタートしました。

Windows8 チャレンジ部門のファイナリストとして、

鳥羽商船高専からチーム BOTEKO の4名の学生が出場しました。開発した作品は、簡易プラネタリウムの『星空投影機』で、タブレットを光源にして、ダンボールと虫眼鏡で作った投射機で室内に星空を映し出すアプリケーションで優秀賞をいただきました。

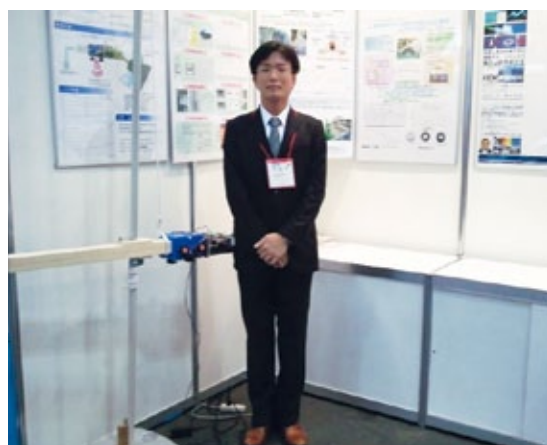
TECH Biz EXPO2012 に出展

本校テクノセンターの技術職員の中井一文さんが第2回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO2012に出展しました。

中部・東海地区の企業や学術機関が各自の技術を持ち寄る展示会で、11月28日から30日にかけてポートメッセなごやにおいて開催されました。

この展示会はBtoBの場として企業向けに開催されており、期間中の来場者は約19,000人でした。

本校からは独自に開発した電磁波測定用の機器を出展し盛況を得ました。

**◎注目クラブ活動****創始者宗道臣生誕100年記念少林寺拳法三重県大会で本校学生が活躍**

平成24年10月21日(日)、いなべ市運動公園体育館において、みえスポーツフェスティバル2012創始者宗道臣生誕100年記念少林寺拳法三重県大会が開催されました。

本校からは、6名の学生が出場し、単独規定演武一般男子級拳士の部で、電子機械工学科1年の石井拳悟君が優良賞を受賞し、自由組演武女子有段の部で、同学科3年の大戸笑葉さんが最優秀賞を受賞しました。大戸さんは、鈴鹿高専に在学中のお姉さんと組演武を行い、今年度の大会で4年連続の最優秀賞受賞となりました。

第16回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に本校学生が出場

平成25年3月23日(土)24日(日)の2日間、香川県の多度津町総合スポーツセンターにおいて開催された「第16回全国高等学校少林寺拳法選抜大会」が開催されました。その三重県代表として、本校から3名の学生が出場しました。

男子自由単独演武の部に電子機械工学科1年(現2年)の石井拳悟君、女子規定単独演武の部に制御情報工学科2年(現3年)の吉川波希さん、男子規定組演武の部に商船学科2年(現3年)の山路和徳君と電子機械工学科2年(現3年)の夏山季士君が出場しました。普段の練習の成果を発揮しましたが、予選で終わりました。

全国漕艇大会ヨットの部で総合3位

7月20日(土)～21日(日)山口県の大島商船高等専門学校にて行われた、第48回全国高等専門学校漕艇大会のヨットの部に本校ヨット部が出場しました。この大会は、商船学科がある全国の5高専(富山高専、鳥羽商船高専、広島商船高専、弓削商船高専、大島商船高専)が参加する伝統ある大会です。

山口県の屋代島沖の海上にて、2日間で計4レースが行われました。強烈な日差しの下、風待ちの待機時間も長く精神的に負担のかかるレースでしたが、各艇とも実力を出し切った試合を展開してくれました。

FJ級ペアで種目別3位、シーホッパー級SRで種目別2位に入賞し、総合でも3位の入賞を果たしました。

FJ級 得点50点 種目別3位

SH級SR 得点10点 種目別2位

総合 得点60点 総合3位

(いずれも低得点方式)

2年連続の入賞を果たしており、来年度以降も入賞を続けてもらいたいものです。

全国高等専門学校漕艇大会(カッターの部)大会新記録の7連覇達成

第48回全国商船高等専門学校漕艇大会(カッターの部)が7月21日(日)に大島商船高等専門学校練習船棧橋沖で開催されました。

この大会は、商船学科がある全国の5高専(富山高専、鳥羽商船高専、広島商船高専、弓削商船高専、大島商船高専)が参加する伝統ある大会です。

大会当日は、どのチームも日頃の練習の成果を存分に出し、白熱した大会となりました。

本校はAチーム、Bチームともに優勝し、Aチームは第42回大会から7連覇、Bチーム第43回大会から6連覇となる偉業を成し遂げました。

なお、全国高等専門学校漕艇大会(カッターの部)において7連覇は大会新記録です。

◎地域活動・地域貢献**全国地域安全運動に本校学生が協力**

10月11日(木)に平成24年全国地域安全運動の一環で学生会長始め3名が鳥羽警察署からの協力依頼に応えたもので、鳥羽ショッピングプラザ「ハロー」で買い物に来られた方に「防犯にご協力を!」の大きな声と共に、地元鳥羽市の地域安全を訴えました。

ヨット部がボランティア活動

平成24年10月7日(日)、8日(月)に伊勢市のゴリキマリンビレッジでアクセスディンギー(身体障害者用のヨット)の体験試乗会とレースが行われました。本校からヨット部の顧問と学生合わせて5名がボランティアとして参加し、車いすの方のヨットの乗り降りの介助やレース運営の補助を行いました。

試乗会の参加者は70名を超え、レースも好天に恵まれて順調に実施されました。

船越小学校で出前授業

平成24年10月15日(月)に志摩市立船越小学校で「オリジナルTシャツ・バッグ作成講座」の出前授業を実施しました。

当日は、4年生1組児童7名が参加し、パソコンで作

成した絵をTシャツ・バッグにプリントし、オリジナルTシャツ・バッグが出来上がる初めての体験に感動しておりました。

**公開講座「小学生のためのバレーボール教室」を開催**

平成24年10月15日(月)と10月29日(月)の両日、19:00から本校第2体育館で、「小学生のためのバレーボール教室」を開催しました。

安乗小学校で出前授業

平成24年11月8日(木)に志摩市立安乗小学校で出前授業「LEGOを用いたロボット製作入門」を実施しました。

4年生11名、5年生10名の児童計21名がロボット製作・制御プログラミングに取り組みました。

参加した児童たちは、ロボットの製作・プログラミング・制御を班単位で協力して助け合いながら取り組み「ちゃんと動くか心配だったけど、動いて嬉しかった」「先生と学生のお兄さんがやさしく、わかりやすく教えてくれた」との声が多く聞かれ、興味を持って楽しく学習することができました。

**越賀小学校・鳥羽小学校でLEGOマインドストームを用いたロボット製作出前授業!**

6月7日に越賀小学校、また6月13日には鳥羽小学校において、制御情報工学科の教員と補助学生、技術職員による出前授業が開催されました。

志摩市立越賀小学校においては5・6年生のグループから成る16名で2～3人のペアになり、LEGOブロックキットを用いた自動車タイプのロボットを作成しました。

鳥羽市立鳥羽小学校では5年生32名が2人ずつペアになり、同様にLEGOブロックキットを用いた制御ロ

ボットを作成しました。

チーム内で互いに協力したり役割分担をして、完成という目標を目指し仲間と一体となってロボット製作に取り組んでいました。

また協力して製作やプログラミングしたロボットが走った時には、それぞれ感動を味わうことができたようです。

滋賀県草津市立玉川中学校において模擬授業を実施

平成 25 年 7 月 2 日（火）に滋賀県草津市立玉川中学校において商船学科の模擬授業を実施し、3 年生の生徒 32 人が参加しました。

本授業は玉川中学校の進路学習の一環として行われたもので、石田商船学科長が訪問し、模擬授業「船のいろいろ」を行いました。

授業では大型船舶や外国航路に関する講義が行われ、受講した生徒たちは熱心に動画を見たり、講義に聞き入っていました。

◎国際交流

KCCの教員と学生が本校を来校

平成 24 年 12 月 21 日（金）、22 日（土）の 2 日間、カウアイ・コミュニティ・カレッジ（KCC）の教員と学生あわせて 8 名の訪問団が来校しました。

21 日は、御木本真珠島を訪問した後、KCC でインターンシップに参加したことのある本校の学生たちの案内で鳥羽丸や校内を見学しました。その夜は、潮騒会館にて、歓迎会を催し、交流を深めました。

22 日には、伊勢神宮を巡り、おはらい町・おかげ横丁で食事や買い物を楽しみ、この地を後にしました。

平成 24 年度東海地区高専留学生交流会を実施

平成 24 年 12 月 22 日（土）～12 月 24 日（月）に東海地区の 5 高専の留学生のスキー交流会（当番校 鳥羽商船高等専門学校）を実施しました。

交流会には、留学生、教職員合わせて 45 名が参加しました。

◎教職員人事

採用

・一般教育学科	講師	西世古 悌治
・電子機械工学科	助教	宮本 潤示
・制御情報工学科	助教	都築 啓太
・総務課財務・経理係長		大西 裕子
・学生課教務係		高尾 毅
・学生課学生生活係		中島 由喜
・テクノセンター技術職員		木村 佳嗣
・総務課総務係事務補佐員		中北 圭子
・総務課調達係事務補佐員		家田 希

転入

・総務課長	前田 輝伸
・総務課長補佐	碓谷 元弘
・学生課長補佐	喜井 健二
・総務課総務係長	林 浩史
・総務課調達係調達主任	中村 健太郎

◎公開講座 平成 25 年度

1. Wii リモコンでゲームプログラミング
8 月 3 日（土）中学生 20 名
2. おもしろ理科実験
8 月 3 日（土）中学生 20 名
3. LEGO で自動走行ロボットを作ろう
8 月 20 日（火）中学生 20 名
4. ソーラーカー作成
8 月 20 日（火）小学 1 年生から 3 年生 20 名
5. 手作り太陽電池
8 月 21 日（水）22 日（木）中学生 8 名
6. 君が船長 船で Go !
8 月 22 日（木）小学 4 年生から 6 年生 20 名

◎同窓生の本校教職員

竹内 和彦 (S47E)	鳥羽丸機関長
鈴木 秀司 (S48N)	鳥羽丸船長
大野 伸良 (S56E)	鳥羽丸一等機関士
出江 幸重 (H3M)	制御情報工学科准教授
江崎 修央 (H4M)	制御情報工学科准教授
竹内 晃輔 (H7I)	総務課施設係
吉岡 裕也 (H16E)	テクノセンター技術職員
中井 一文 (H16I)	テクノセンター技術職員
濱口 沙織 (H17I)	テクノセンター技術職員

学校に親しんでもらうために！

公開講座

●学校が 24 年度に実施した活動

Wii リモコンでゲームプログラミング	(対象) 中学生
おもしろ理科実験	中学生
LEGO で自動走行ロボットを作ろう	中学生
ソーラーカー作成	小学生
手作り太陽電池	小学生
君が船長 船で Go !	小学生
小学生のためのバレーボール教室	小学生

学生募集巡回 P R 進学説明会

出前授業

■体験型学習

船のエンジンを「動かす」
物を冷やす仕組み
LEGO を用いたロボット製作入門
風に向かって走れ
ウインドカー作成ー
オリジナルTシャツ・バッグ作成講座
食品の加熱って？
ー電気を利用したヒータの作成ー

■教養講座

トランシーバを使ってみよう
日常で使えるロープワーク
ものはどこからどのように運ばれてくるの？

町内会 A E D 講座 (対象：町内会員)

リーディング産業展 (対象：一般員)

子育て応援！わくわくフェスタ (対象：一般子供)

四日市港鳥羽丸 P R 航海 (対象：小・中学生・一般)

名古屋港鳥羽丸航海 P R (対象：小・中学生・一般)

国立高等専門学校 (商船学科) 5 校合同進学ガイダンス

伊勢湾・三河湾スナメリ観察クルーズ

(三重大学・鳥羽水族館との合同)

海学祭

そばや「長老庵」の出店 百周年記念館の開放

夏休みが楽しみだ！ 「鳥羽丸」で行く造船所見学

「伊勢湾フェリー」で伊勢湾マーチス見学と伊良湖岬自然観察

対象
小中学生

もうすぐクリスマス！遊んで学ぼう

講演会と、学校施設の体験チャレンジ

校祖「近藤真琴」を学ぶ など

●故郷の海を愛する会が 24 年度に実施した活動

小水力発電コンテスト 参加レポート

電子機械工学科 山下晃司

小水力発電アイデアコンテストとは

地球温暖化や東日本大震災での原子力発電設備の事故などから、安全で再生可能な自然エネルギーを人間社会で活用する要求が高まっています。小水力発電は、発電電力は小さいものの、大規模な土木施設を必要しない環境負荷の小さな発電システムです。このシステムのアイデアを競う第2回小水力発電アイデアコンテストが、三重県いなべ市で開催されました。コンテストのレギュレーションは、デンソーが提供したオルタネータを発電に使用すること、制作費が30万円を超えないこと、以外は特に制約はありません。東海北陸地区の全9高専のチームと(株)デンソートリムの10チームが参加しました。

鳥羽商船高等専門学校での取り組み

本校では、電子機械工学科3年生(現在4年)の東川励弥を中心に、3年生5人、2年生1人の有志で参加しました。

6月22日～24日にはデンソー大安製作所の体育館で、全チーム参加の合宿を行いました。合宿では、現地の複数の候補地で水路の形状、流速、流量、および落差等の調査を行うと共に、候補地周辺に住んでいる人から地域の要望や特徴をインタビューしました。また、合宿では、地域の人との交流会や他高専の学生との交流会も行いました。



初めてコンテストに参加することもあり、アイデアを固めていくのに時間がかかり、実際に製作を始めたのは12月になってからでした。また、3年次以下の学生ばかりで工作経験があまり無いので、テクノセンター技術職員の指導の下で試行錯誤をしながら製作を行いました。試験前も製作をし続けたにもかかわらず、結局、完成したのはコンテスト直前になってしまいました。

製作した水力発電装置の特徴

製作した水車は、可変ブレード縦軸水車です。

この水車は、縦軸に垂直に設置された水車ブレードが水流を受けることで回転力を得ますが、軸の反対側では回転を阻害する力が発生します。そこで、軸の反対側でブレードを垂直に移動させることで、実効面積が小さくなるようにしました。

可変ブレード縦軸水車の利点は、水流に枯葉や木の枝、ペットボトルなどが混じっていても受け流してしま

うことです。そのため、置くだけで発電し、台風など災害にも強い水車です。

コンテスト当日

製作した小水力発電システムの設置は3月8日と9日に行い、3月10日は審査がされました。多くの地域の住民と、高専機構・高専職員、NPOメンバーが各高専の小水力発電システムを見て回り、質疑応答をしながら審査を行いました。本校の小水力発電システムは、アイデア部門では2位の得票を得ましたが、総合評価では上位3位までに入るには至りませんでした。

この様子は、NHKや中京テレビ、中日新聞やなど、様々なメディアで報道されました。



コンテストの参加を通して

小水力発電アイデアコンテストに参加した学生達は、技術や技能を習得するだけでなく、地域住民へのインタビューや交流、合宿・コンテストでのプレゼンテーションなどを通して“人や社会”との関わり大切さをからだで感じました。また、発電電力の利用アイデアを考えるなかで、技術と地域社会の関わり大切さを学び、人間・技術者としても大きく成長することができました。

編集者より： 可変ブレード縦軸水車がイメージできず、ネットで情報を探しました。

http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_kurashi_20130412_2443

NHK エコチャンネルで2013年4月12日に放送されたものです。映像で見るとよくわかります。



来年は福井県鯖江市で開催との事、頑張っしてほしいものです。

尚、今回のコンテスト参加について同窓会は少しですが資金協力をしました。

支部だより

北海道支部

支部長 S48E 奥田 宣夫

北海支部の皆様、ご無沙汰しておりますが、お元気で過ごしてでしょうか。

北海道の今年の夏は、暑い、アツイの連続です。雨による被害も多く、特にJR北海道では多数の被害が出ております。また、暑さのせいで農作物にも成長に遅れが出ています。

さて、ここのところ支部活動が停滞しており、ご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。私ごとですが、この3月に定年退職し第2の職場に就職することができ、目下、現職時より忙しく動き回っております。今回は、支部活動のお知らせがなく心苦しく思っておりますが、北海道の話題をお伝えしようと思います。

今年の北海道の話題は、何といてもJR北海道の様々な事故がありました。平成23年5月に石勝線のトンネルでエンジンの損傷により特急車両が全焼する事故があり、乗客の機転でトンネルから全員が脱出し生命が失われることがなかったのは不幸中の幸いでした。

しかし、今年7月にはまたしても函館線でエンジンが破損し車両火災が発生しました。この影響で、今でも一部の特急の運休が続いており、札幌－函館間は不便を強いられております。また、8月には自然災害も追い打ちをかけ、同じ函館線でJR貨物のコンテナ列車が大雨の影響で線路下の砂利が流され、脱線しました。その数日後、流入した土砂により再び特急車両が立ち往生し、JR北海道も踏んだり蹴つたりの状態でかわいそうなくらいです。JR北海道の懸命の復旧工事が進み、今では運転を再開していますが、エンジン破損は原因がまだ掴めていないようで9月末ごろまで部分運休が続くようです。エンジン事故の他には、帯広・釧路と結んでいる特急車両の配電盤から火災が発生し、これもまたしばらくの間、同系車両の部分運休が続いていましたが、原因が「ネジの締め付けがゆるんでいたために起きた火災だそう」で、そろそろダイヤ通りで運転されるようです。

でも、JR北海道のいいところは沢山あります。沿線は、海の近くを走ったり山を突き抜けたり、景色の眺めも良く列車の旅は私は好きです。新幹線よりスピードが遅い分、ゆっくりと車窓を楽しめます。釧路から根室に向かう路線では、エゾシカがたくさん見えて楽しかったのを覚えています。やはり、北海道は「ゆっくり走ろう…」が似合っていると思います。

以上、とりとめの話で恐縮ですが、今日(24日)はやっと涼しくなり、四国から遊びに来た孫も「寒い」と言っております。これからは秋を過ぎると、また厳しい冬がやってきますが、会員の皆様もどうかお元気で過ごしてください。

東日本支部

支部長 S43N 水野 正治

初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

政権交代後10ヶ月、昨年とは打って変わって景気の明るさが戻ってきたようなこの頃です。

さて東日本支部の活動状況ですが、昨年6月本部総会を東京で開催することとなり、支部役員関係者一同全力を挙げて取り組みました。お陰様で無事盛会のうちに終える事ができましたこと皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。又慣れない声出しを一生懸命練習したオヤジコーラス隊も良き指導者伴奏者に恵まれて好評のうちに役目を果たすことが出来良き思い出となりました。

年初(1/12)には海王丸の遠洋航海出港を見送りました。当日はよく晴れて船出見送りに最適な日和となり、鳥羽商船実習生に菱田会長より心のこもった激励の言葉と差入れの食料品を贈呈しました。

5月15日は「日本戦没・殉職船員追悼式」に増田氏、上山氏、私の3名で出席いたしました。18日は攻玉社同窓会総会に菱田会長と私の2名が出席しました。19日には第30回横浜港カッターレースに参加致しました。理事の菅原さん達S51年卒業生が主体となったチームで上位を目指しましたが弓削チームに後れをとりました。

6月10日は本部総会懇親会があり、オヤジコーラス隊も時間を戴きましたが練習不足は否めずまいちの出来栄でした。同30日は合同進学ガイダンスが東京有明で開催されました。例年同様各地の教育委員会・中学校に働き掛けて少しでも集まって貰えるよう力を尽くしました。当日も8名程のOBが集まり、一時は応援席の方が鳥羽ブースにみえた中学生・父兄より多いときもあり賑やかに盛り上げることができました。一人でも多くの受験生が集まるよう祈っています。

最後に、昨年開催を見送った東日本支部の総会懇親会を下記の予定で開催いたします。会員同窓生各位のご参加を心よりお願い申し上げます。

平成25年度

東日本支部総会懇親会開催予定

・日時 平成25年10月18日(金)
18時30分から

・場所 ナビオス横浜



中部支部

支部長 S52E 加塚 伸吾

この度、平成 25 年度本部総会において、中部支部長を拝命しました昭和 52 年機関科卒の加塚です。今後とも同窓会活動が持続的に活性化となるよう私なりに尽力しますので、ご指導、ご鞭撻のほどお願いします。

さて、今年度の本部総会を 6 月に中部支部が担当支部として名古屋で開催しましたが、本部並びに会員各位のご理解、協力により、盛況に挙行できたこと、まず以って御礼申し上げます。

私自身の今までの同窓会活動の関わりとしては、昭和 52 年に卒業後、約 7 年余陸上民間企業でサービスエンジニア業務に従事後、昭和 60 年、名古屋港の港湾管理者である名古屋港管理組合に入庁し、その職場には、同窓、諸先輩の方々が所属しており、その環境から同窓会活動の事務局を務めることとなり、約 28 年間、歴代の支部長（名鳥会）を支えてきました。

その間、同窓会活動を活性化するために、特に若い同窓生が参加することを試行錯誤しましたが、なかなか結果が出せず、現在に至っているところです。

ただし、名古屋港界隈には、水先人、船社、船舶代理店、港湾運送事業者を始め、港湾関係者に同窓生が多くみえて、同窓会活動にご理解、ご支援していただいております。今後をその方々をベースにネットワークを構築し、肩肘はらない昔の上下関係抜きに交流できる場として活用できるようにできたらと考えていますので、同窓生各位のご理解、ご支援をお願いします

四日市支部

支部長 S55N 室 博也

自宅でこの原稿を書いていますと、外は「蝉しぐれ」状態で、中でも、クマゼミが付近一帯の音の世界を支配しているように「騒音」で満ち溢れた空間を創っており、正に、「日本の夏」の真ん中に自分はいるのだと実感しています。

海外でご活躍の同窓生の方々は、今、寒暖様々な環境下でお過ごしのことと存じますが、高温多湿で世界で最も不快と評される日本の夏が、特に、7 月から 8 月上中旬頃が、自分にはなぜか「1 年間で最も好きな時期のひとつ」であり、その点で、商船に乗船していた X X 年前の自分と比較して「小さな幸せ」を感じているところです。

その理由のひとつは、やはり、「甲子園」にあるのだと思っています。この時期、球音が聞こえてきますと、心がワクワクしてきます。

今年の全国高校野球選手権大会三重大会では、母校硬式野球部は、7 月 20 日に松阪球場において、伊勢工業高校と対戦しました。同校は、2 年前の甲子園出場校で、いつもながら母校の「くじ運」のよさに驚くばかりです（近年の相手は、ベスト 8 以内に進出した高校ばかりです）。四日市支部からの応援は、私の個人的趣味もあって、支部長を拝命しました 4 年前から続けていますが、本年は、初めて、伊勢志摩支部と合同で応援することとなり、期待十分、張り切って行ってまいりました。

応援の様子は、同窓会 HP への伊勢志摩支部による投稿記事（トップページか、確認できなければ、左側の「各

支部の連絡事項」をクリックしてください）に詳しいところで、伊勢志摩支部の武部先輩が同窓会旗を振る中、合計約 50 名の熱い応援でしたが、残念ながら、満塁ホームランを打たれる等々で、熱闘 1 時間 30 分、5 回コールドで夏が終了。

しかしながら、敗れはしたものの、灰闘するところでは、母校野球部員は熱心に、日々、練習をしているとのことで、その集大成を間近で観ることができたのは幸せなことと思いますし、また、敗戦したからこそ、未来は「上昇」しかないと前向きに考えれば、応援してよかったと、また、これからも応援を続けよう、思うのです。

この投稿記事を読まれた方！ もし、お時間が許されるのであれば、来夏、ぜひ、応援に行ってください。もしかしたら、（副産物的に）、応援席で、懐かしい方に邂逅することがあるかもしれません。

高校野球につきましてはこの辺にしまして、次に、支部総会について、ご報告申し上げます。

平成 25 年度の支部総会は、7 月 20 日の 17 時 30 分から、近鉄四日市駅近くの助六寿司本店で開催し、第 61 期から 126 期まで、計 20 名のご出席をいただき、賑やかで楽しい時間を共有させて頂きました。

今年度は役員の改選時期にあたり、概ね「留任」の中、新たに、鈴木敏行氏（S43E）、西村崇氏（H6I）及び岡山雄一氏（H11E）に役員に就任いただきました。役員の任期は 2 年で、今後も同窓会・母校の発展に向けて精一杯がんばりますので、同窓の皆様におかれましては、宜しくご支援賜りますよう、当紙面をお借りして、お願い申し上げます。

お気付きのとおり、支部総会が上記母校試合日と重なってしまい、私自身、「母校野球部の試合が長引けば支部総会に遅刻する」との懸念を抱いていましたが、前記のとおり、「母校後輩部員のご配慮」により、余裕で間に合わせることができました。

伊勢志摩支部

支部長 S30E 古川 昭一

特定 N P O 法人故郷の海を愛する会については別記事でご参照ください（10 頁）。それ以外の事を数点報告します。

① 同窓会入会拒否者があります

昨年の商船系、今年の工業系卒業生で入会拒否者が出ています。規約では卒業＝入会となっていますが、現在、個人情報の関係から入会は自主申告となり、卒業式当日の謝恩会会場にて入会を勧誘しているのが現状です。

② 海学祭

例年通り、良く目立つところにテントを設けて貰い、C D ・ T シャツ ・ 名簿等販売、音楽を掛けて来訪者を待ちましたが淋しいものでした。武部理事主導の長老庵はいつもの様に大賑わいで準備した 100 食余りすぐに完売でした。

③ 有志による花見 鶯鳥（うそ）による被害

二見の山口理事邸にて、少し遅めでしたが花見を楽しみました。然、今年は鶯鳥によって花芽を啄ばまれてしまい、木の下での宴会でしたが、飛び入りで鶯の空中エサ取りの思わぬ余興があり楽しめました。

伊勢市の郊外の横輪原産の少し変わった横輪桜も鶯鳥にやられて花祭りにならなかった様です。

④ 支部総会開催について

クラス会がポツポツと開かれています。卒業して20年位経って生活もある程度安定してくると学生時代の仲間との会合が懐かしくなってクラス会が開かれる。このクラス会を全学年でできればもっと楽しいものになるのでは、との思いから合同クラス会（総会）を計画しています。きっかけは今年の名古屋での総会に出席の工業系の方々からの提案です。

下記のように計画しています。

一、時期 平成25年11月23日（土）12時
勤労感謝の日

二、場所 鳥羽シーサイドホテル

三、費用 全員7,000円（ビュッフェ+飲み放題）
女性・20歳代は5,000円（ // ）

連絡方法ですが、工業系の方は支部在籍者が多く、学年単位でお互いにメールやフェースブック等で容易に連絡が出来る様です。然し商船系は在籍者が少なくメール等で飛び飛びですが連絡しています、上手く繋がっているのかどうか判りません。

この報告を見て総会に出ようと決めた方は

同窓会事務所 FAX 0599-25-8128

連絡をお願いします。

尚、古川のメールでも構いません。

s-furukw@lemon.plala.or.jp

⑤ 高校野球三重県選抜試合

7月20日午後 県営松阪球場

対戦相手 伊勢工業高校

応援に四日市支部から6名、支部理事3名と地元（松阪近郊40名程度）で同窓会旗を振って応援しましたが、結果は0：14のコールド負けでした。試合の結果は残念でしたが多くの同窓が応援を通じて懇親が出来た様です。今後もこのような機会を逃さず懇親を深めて行きたいです。以上は支部理事（S38N）の応援記の様子から引用しました。（私は出席出来ませんでした申し訳ない）。

以上

関西支部

支部長 S39N 籠田 弘之

今年の夏は昨年と同様に猛暑日が続き、体調を崩さないように毎日を過ごしております。

この猛暑の中、同窓会報の原稿を書いています。

同窓会報が配布されるころは涼しい風が吹き、過ごし易くなっていると思います。

さて、関西支部の活動について、下記まとめました。

1. 理事幹事会

支部総会に向け、平成24年10月31日理事幹事会を開き24年度関西支部総会について開催日、場所及び議事進行について協議した。又、25年度は理事の改選が行われるので関西支部の理事の人選を行い支部総会に諮る事とした。

2. 関西支部総会

第三回支部総会は平成24年12月2日“パパミラノ 大阪マルビル店”で開催しました。昨年と略同数の同窓会員49名が、またS19/12年N卒の同窓会員をトップにH18年N卒と年代層も幅広く参加してくれました。

議事次第

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 支部活動報告
- (4) 支部長会報告
- (5) 関西支部理事（6名）の選出、及び推薦
- (6) 25年度の活動予定
 - 1) 本部総会への出席
 - 2) 大阪港カッターレースに母校在学生参加、応援
 - 3) 5校合同進学ガイダンスに参加、協力
 - 4) 支部総会は10月ごろ神戸で開催予定

支部総会終了後、懇親会に移り、藤本副会長（S42年N卒）に乾杯の音頭と取って貰い、歓談に移りました。

懇親会では年代別にテーブルを設けましたが、お酒が進むに従い先輩・後輩の交流が多く見受けられた。又、新旧校歌、寮歌、練習船の歌なども歌い、おおいに盛り上がり、最後に来年度の総会で再会すること誓って14：30時に解散した。



3. 「商船高専5校合同進学ガイダンス

平成25年7月15日（海の記念日）に5校合同進学ガイダンスが神戸港 神港第一埠頭に接岸中の航海訓練所の“銀河丸”船上にて船主協会主催で開催された。これに関西支部から3名が参加し、母校のブースで手伝いをした。

会場は銀河丸第一教室で180席と船内としては大会場でした。しかし、教室として造られているため余分なスペースは無く、多数の参加者が入室したことから狭く感じられた。

例年のとおり、13：00時より開会、主催者の挨拶に続き資料説明と進み、今回は銀河丸船長が挨拶を行い、一等航海士が船内設備の説明、および船内は陸上施設と異なり危ない場所の例を上げ、注意を促した。その後は例年どおり、五校を代表して大島商船の先生が学校の特殊性と存在する意義について説明がなされた。その後、休憩を挟み卒業生による職場の魅力とやりがいについて自身の経験の基に発表があった。

その後、三班に分かれDVD鑑賞と銀河丸乗組員の協力を受け船内見学を行った。

参加者は順次第一教室に戻り希望する学校のブースに着席した。着席の状況を観た所、母校のブースが一番多く、用意した席では足りず予備の席について貰う事とした。

また、他校のブースから移動してくる参加者のため入れ替えを行い、再度最初から説明した。

以前は成績、寮生活等について質問が多くあったが、今回は質問が少なく、石田先生の説明で満足したように見受けられた。

17:30 時平成 25 年度商船高専 5 校合同進学ガイダンスは大盛況で終了しました。

参加者は商船高専を受験することを念頭に説明に耳を傾けていたことが印象深く感じました。また、このガイダンスに参加した受験生が学校に戻り、本音で先生、同級生に話しをすることにより、このガイダンスが自然的に広がり一人でも多くの優秀な生徒が参加してくれる事を期待したい。

4. 支部理事幹事会

8 月 19 日 (月) に支部理事幹事会を開催し、平成 25 年度支部総会と 26 年度本部総会の日時・場所について幾つかの候補会場を持ち寄り協議した。

支部総会の開催は 12 月上旬をめどとし、場所は神戸とした。また、本部総会は 26 年 6 月の第 2 週の日曜日と決め会場確保に動くこととした。

5. 関西支部総会開催予定

平成 24 年度は大阪にて関西支部総会を開催したことから平成 25 年度は神戸で 12 月上旬に開催を計画しています。

昨年は 49 名と各年代層からの出席頂き大盛會に終わりました。今年度も昨年同様に会を盛り上げていきたいと思っています。このためにも多数の会員の出席してくれる事を期待します。

でもその式典の来賓の封筒に学校のパンフレットが入っていたり、又、海技短期大学校（海員学校のこと）もすばらしい PR 紙を作り、色々な場所（マリーナまで）に配布して宣伝しています。

本同窓会においても、学校のため、國のため、卒業生のため、もっと学校を PR し、もっと全国から志しのある少年に母校を知ってもらい、又、母校を受験できる機会を与えるための活動にも力を、と思いますがどうでしょう。以上



西日本支部

支部長 S41E 山下文徳

暑さもどうやら峠を越えたものの西日本はゲリラ豪雨に襲われる日が続いております。会員の皆様如何お過ごしでしょうか。私は今年から福岡先輩の後を継いで支部長に推挙されました広島県出身の山下文徳 (S41E) でございます。

よろしくお願い申し上げます。

会員数は 100 人足らずの支部ではございますがエリアは岡山県の一部を除く中四国九州沖縄県と非常に広く年 1 回の支部総会、懇親会の開催地はほぼ中間地点である下関市と決め開催日を本部総会の 2 週間後と決めました。今年は 6/22 国民宿舎「海峡ビューしものせき」で開催 11 名の参加で商船の同窓会にふさわしく温泉に浸かったあと大宴会、部屋に帰ってから深夜まで 2 次会と校歌寮歌舟歌ありの楽しい一時を満喫しました。来年は 6/21 同じように「海峡ビューしものせき」で開催します。他支部の皆さんも旅行ついでに飛び入り参加は可能ですか。大歓迎です。

6/29 船主協会主催の 5 商船合同進学ガイダンスが広島市で行われ学校からは商船学科の先生が頑張っておられましたが、ここは広島商船の牙城で鳥羽にとっては厳しい結果となったようです。同窓会からは私他 3 名が応援にいきました。来年はもっと鳥羽に呼び込む工夫をしようと思っております。子供さん親御さん併せて約 90 人の参加でした。来年はまず親御さんを落とすことと、同窓会の活動と学校の歴史をしっかりとアピールしようと思っております。

本同窓会でも NPO 法人「故郷の海を愛する会」を立ち上げ有志の方達が頑張っておられます。すばらしいことです。

広島でも、広島商船の練習船が県内の主要港で体験航海やら学校の PR を盛んにやっており、又、海の記念日

寮生活の思い出



旧寮



白菊寮

昭 37 年



暁寮

昭 45 年



春の叙勲 受章

黄綬褒章 受章 岩崎敏壽さん

2013年春の叙勲で会員 S35N 岩崎敏壽さんが黄綬褒章を受章されました。

社会奉仕活動功績の「業務精励（水先業務）」に対し与えられたもので、岩崎さんは現内海水先区水先人としてその功績が認められたものです。

おめでとうございます。

25 頁の記事にある「横輪桜」について



伊勢の横輪町ではこの「横輪桜」で町おこしをしています。開花始めは一重に咲いていて、だんだんと沢山ある雄しべの先のほうから花びらに変化していきます。花の大きさも普通の桜の2～3倍もある上に、花びらの枚数が増えていくのでボリュームたっぷり。



セピア色の思い出

観光用に係留されていた「ぶらじる丸」

<http://tobashousen-dousoukai.com>

アクセス上昇中!

鳥羽商船同窓会ではホームページを通じて同窓会の親睦、母校の繁栄、更には海事思想の普及を図ります。そのホームページ上へのスポンサー（バナー広告）を募集しています。

鳥羽商船同窓会ホームページ

バナー広告ご協賛企業

スポンサーサイト

登録

Wetmaster®

水中高分解処理装置
自動化計装システムエンジニアリング

E・T エステック株式会社

海席料理

大阪屋鳥羽店

(株)鳥羽ヤンマー

S44/E 江崎



iii ムロオ

鳥羽ビューホテル 花真珠

女将 迫間まち(旧姓:山門)

医療法人友仁会

友仁 山崎病院

理事長 矩照幸 S52E

人間ドックで早期発見

母校鳥羽商船に来訪

大先輩石田さん記念館来訪

1月12日百周年記念館にS19年機関科卒(62期)の石田輝昭さんが孫娘さんと来られました。客船パシフィックビーナスで鳥羽に入港したので、何十年かぶりに立ち寄られたそうです。卒業後、船舶運営会より函館で機帆船に乗船となったが、毎日「玄米つき」ばかりやらされたので、下船して陸上の仕事に就いたそうです。お元気そうでした。

同窓会事務室で打ち合わせ中の若い? 会員達と近藤真琴記念碑前で記念撮影しました。



後列右から5人目が石田さん

又、石田さんが以前に植樹した木が枯れていたので、ご依頼により、新たに「横輪桜」を植樹しました。(横輪桜については24頁を参照ください。)

中井さんご遺族来訪

その後、今度は、明治41年航海科卒(25期)中井茂男さんの娘さんがご家族と共に記念館の見学に来られました。

中井さんご本人は亡くなっていますが、娘さんが父親の卒業した学校を懐かしく見に来られたそうです。

娘さんのお話では「マゼラン海峡を通過した37番目の日本人であると中井さんが自慢していた」そうです。

添付写真は記念館内で江崎事務局長代行(当時)が「同窓会会員名簿」にある中井さんの名前を娘さんに示しているところです。



同窓生やその関係者がこのように立ち寄ってくれるのはとっても嬉しいですね。

河口俊已知さん(故人)ご家族 来訪

大正11年航海科卒の河口俊已知さんは既に亡くなっていますが、7月9日、ご遺族(次男夫婦)が水先案内人をしている同窓生の西濱卓己(S54N)さんと畑辰幸(S51N)さんと一緒に同窓会事務室に来られました。居合わせた相談役の松本さん、伊勢志摩支部長古川さんとしばし歓談され、記念碑前で記念撮影し、お帰りになりました。

遺品の中に多くの書籍・資料があり、同窓会に寄付して頂きました。この中には昭和38年に発行された同窓会報(創刊号とあります)が含まれており、早速、HPにアップさせて頂きました。



有馬百鞭さん ご子孫 来訪

近藤真琴顕彰碑の裏面にある碑陰銘には「鳥羽舊藩士有馬百鞭撰並書」と書かれています。その「有馬百鞭(ありまもむち)」さんのお孫さんが7月20日、同窓会事務室に来られました。百周年記念館設立の際、近藤真琴の友人であった有馬さんに展示する資料をお願いしており、その様子を見に来られたとの事でした。

資料室で展示されている品々を見て頂きました。

有馬邸は今も鳥羽に残っているそうです。

「有馬百鞭」は私立東海商船学校を支えた人々として母校百年史に記載されています。



クラス会

M科I科一期生クラス会報告が
ありました。うれしいですね！

「制御情報工学科 1 期生同窓会」

樋口 雅寿

GW 中の5月4日、伊勢シティホテルアネックス 1F「伊勢みやび」にて、記念すべきI科1期生の同窓会が実施されました。

卒業以来20年が経過しておりますが、思いの外学卒後の就職先にて活躍されているケースが多く、卒業生30人全員と連絡がとれました。また、Facebookの非公開グループによる告知等I科ならではの、ITを活用した運営となりました。

遠方からの参加者を含め参加15名、旧交を暖めさせて頂きました。



「電子機械工学科 1 期生同窓会」

久保 仁志

猛暑の中 8月16日から17日にかけて思い出の地鳥羽にて同窓会を開催いたしました。(鳥羽シーサイドホテル) 遠方は中国深圳、北海道からの参加もあり27名の参加でした。

全員、揃いで製作したTシャツを着用しての宴会です。次回は全員参加を目指します。教官も参加して下さい。電子メール等で連絡が取れますので便利な世の中になりました。



「S55Nクラス会@熱海」



参加者(写真左から、敬称略)

後列：浅野 塚越 高橋(秀)

中列：岡本 室 山田(晃) 藤田(明) 山田(元)

杉本 高橋(嘉)

前列：望月 津田 福田(憲) 藤田(稔) 中根 村田

報告が遅くなってしまいましたが、去る10月13日～14日に静岡・熱海で恒例(3年毎)のクラス会を行いました。3年前「湯の山温泉」で開催したクラス会の詳細については岡本君が投稿されている通りですが、今回は中部・関西方面からの出席者も含め、16名の出席となりました。

大阪から鉄馬でやってきたつわもの・村田君も含め、鉄馬組の望月君と山田(元)君にとっては最高のツーリング日和となったのは、日頃の行いの良さの賜物でしょう。

今年のクラス会は、遠くから参加いただく方も多く、幹事としても少々気合が入っていたため、副幹事の福田(憲)君と、津田君の3名で、事前にホテルと二次会場の下見を行いました。宿泊を予定していたホテルを見学し、ちょっと近辺を散歩しただけで歩き疲れてしまい、二次会場として検討していたスナックが開店するまでバス停のベンチで座り込む情けない3人でしたが、19:30の開店とともに入店。マスター一人しか居なくて、最初は何でこんなに早く来るんだよって感じの対応でしたが、カウンターに座らせてもらって、いろいろ話を聞きました。

宿泊予定のホテルのことも聞いてみたら、今ひとつの反応。少し高い位で食事は「〇〇」や「山木旅館」の方が美味しいと教えてもらったので早速予定を変更し、部屋が空いていた「山木旅館」さんに予約をし直しました。山木旅館さんは昭和な感じ満載の旅館ですが、料理が本当に美味しかったです。マスター、ありがとうございます。

さて、肝心のクラス会当日ですが、15時ちょっと過ぎには室君の愛車で中部組が到着し、少し遅れてくる岡本君と津田君以外が早くも集合しました。今回は、なんと中根君も参加してくれたので、私も含め会うのが卒業以来だった面々は当時の思い出話で早くも盛り上がり、すでに半宴会状態で話し込んでいました。

18時には16名全員が揃い、仲居さんに集合写真を撮ってもらってから宴会開始。美味しい料理に舌鼓を打ちながら、話が尽きない時間を過ごしました。

二次会は全員で旅館を紹介してくれたマスターのスナックへ。最初は貸しきり状態だったので、校歌・寮歌斉唱に続き、久しぶりに「学生規範」と「船乗りモットー」が披露され、お店のスタッフの好感度がアップ？ 少ししてから他のお客様も来店されたのですが、これまたノ

りの良いお客様だったので、一緒に盛り上がって無事二次会も終了。(歌の上手さは完全に負けてたかな?河原君が来れなかったのが残念!)

ちょっと飲みすぎて二次会の間中ほとんど寝ていた同窓会四日市支部長の某M氏を浅野君と二人で1階までかかえ降ろし、旅館まで帰って、当日幹事の役割は無事終了! と思ったら、2名ほど部屋に戻っていませんでした。やや心配でしたが、二人とも良い大人ですからホッておくことにして就寝しました。

翌朝は8時の朝食でしたが、7時頃から「朝飯はまだか」の声が・・・(自分もそうですが、最近朝早く目が覚めるのは年のせいでしょうか。読みが甘かった幹事職に少し反省です)

山木旅館さんの朝食は、朝からご飯を4杯も食した輩もいるほど、本当に美味しかったです。機会があったら妻と再訪したいと思います。

と言うことで、2012年のクラス会も無事終了。次回2015年のクラス会は関西地区で、幹事は寮で私と同じ部屋が長かった藤田(明)君と決まりました。皆さん、そこそこの年齢になりましたが、健康には留意し元気に再開できることを祈念しております。

追伸

網膜剥離手術準備のための緊急入院で、ほとんど毎回出席してくださるKさんが、今回は残念ながら欠席となりました。クラス会の帰り津田君とお見舞いに伺ったところ、手術前でしたので普段と変わりなく、今回のクラス会費より高い一泊〇万円の個室に悠々にご入院されていました。

その後、手術は無事終了されたと言うことですので、落ち着いたら快気祝いをしたいと思います。

文/高橋 嘉弘

「80期生クラス会」



梅雨時以上のゲリラ豪雨、バースト竜巻、それに増して毎年記録更新される最高気温、長かった夏もロンドンオリンピック閉幕共に足早に過ぎ去り、朝夕冷え込みが感じられる昨今です。

白の作業服胸に大きく書かれた名前と洗脳されて元気に寮内を走り回っていた、紅顔可憐な少年もはや70歳近くの後期高齢者(?)。それぞれ寮生活の洗脳を解かれ実社会の荒波に揉まれ立派な社会人に変身したも終局を迎え退職年金生活をおくる年代に成ってきました。

卒業の年度に丁度東京オリンピックがあり、「専攻科打ち上げ卒業パーティー」が小浜旅館街の「松頼荘」で覚

え始めた酒とすき焼きで大いに盛り上がったのをつい先日のように思い出されます。

その際幹事を務められた田中徹生、小島広志両氏がこのまま別れるのはあまりにも虚しいので、「どうだ4年後オリンピック開催の年に再開しましょう! 10年20年後楽しみだぜ」と提案。

満場一致の賛同、長くの間卒業後のクラスの取りまとめしていただいたのですが、不幸にも早くに両名共他界されました。ここに謹んでご冥福をおいのりいたします。

平成24年10月16日、今年もその約束を守り18名(2組同伴)の元商船健児が鮭が生まれ川を目ざす如く聖地鳥羽商船を目指し成長しきった鮭(後期高齢者)勢い良く川を逆上って参りました。

今回は、同窓会ホームページでバナー広告スポンサーでもある「ビューホテル「花真珠」」で行われました。

「花真珠」は山門元校長のご長女が女将を為されているホテルであります。

山門元校長のエピソードなど聞けるのでは、と期待いたしましたが、あいにく出張で聞けませんでした。

会は挨拶もそこそこ今度伊勢湾水先区会長に就任された小久保又五郎音頭で乾杯、堰を切ったの車座があちらこちらに出来上がり大いに語り尽くされましたが、中断各自の近況報告を一人ひとり報告、となりましたが、後期高齢者はマナーが悪く、乱闘国会なみの激しいヤジ、突っ込みで発言者たじたじ・・・

議長の方『ご静粛に!!』の制止無視罵声?共に終了、またも車座宴会・・・・・・ 気が付けば約束の宴会時間30分オーバーで仲居さん追い出されるしまつ。いつもは各部屋でそれぞれ別れ談合に入るのが常でしたが今回は2次会を急ぎ要望されラウンジに設定したところ珍しく全員参加の大盛況。ラウンジ貸し切り状態でカラオケ、昔話で大いに盛り上がりました。ここも気が付けば12時30分過ぎで閉店。幹事としましては、3,500円飲み放題総付け、飲み足らぬから芋焼酎を飲み屋定価6,500円で買われたり冷や汗ものでした。部屋に帰ってもつべこべおなじことを2時半過ぎまでやっておりました。後期高齢者は余生を惜しむかごとくどん欲で、たくましさをしみじみ感じさせられました。

全員二日酔い状態で恒例の朝熊金剛証寺の塔婆供養を時間の許す有志で行いました。前回供養の直江氏、金子氏塔婆を検索、井本、井上両氏の般若心経で参拝、今度新たに加藤久男の塔婆を申し込み下山。その足で小島、柴原両名の眠るやすらぎの里霊園のそれぞれの墓前で参拝。

かれこれ12時となり二日酔い後期高齢者は食が進まず“うどん”がいいということで、“元祖伊勢うどん”の伊勢河崎“つたや”で昼食。950円の安上がりで幹事大喜び!!

午後2時頃、近鉄、JR、車でそれぞれ帰宅の途につきました。

幹事いわく年寄りの世話はずかされた。翌日声はかれ酒は抜けず廃人同様でした。

尚次回は後期高齢者は4年も持たない者もいるだろうと言うことで2年後原嘉明氏の幹事で行われます。

濱口新次氏より多数のスナップ写真をUSB2.0メモリーで頂き、その中から1枚集合写真添付します。

参加者には後日、写真をプリントし、約束の船歌集増版送らせていただきます。期待しないでお待ちのほど。

文責・(幹事) 武部 二三男

「還暦記念同期会（高専2期 商船88期） その①」

2012年10月14日（日）

還暦同期会を開催しました。（at 東京昭島）

全国から、航海科17名、機関科7名 奥様2名 総勢26名。人生の一つの節目を向かえ、日頃の振舞を素直(?)に振り返り、全員（奥様は除く）で大反省会を行いました。

現役・年金生活・第二の人生・等々 それぞれの近況を報告・マァー 皆さん とにかく元気です!!

2次会3次会 ベットの土の上で遅く迄、いや夜明け迄、肩を振り合い、楽しい時を過ごしました(^-^)**
まずは、第一報 開催の報告を・・・



後列（左より） 小橋 横井 我妻 大橋 久米 和田
鹿野 寺田 大山 宗接 岡崎 古谷 山口 神子
前列（左より） 野村 坂田 森 水野 天白 谷村
奥様（江尻） 内山 奥様（神子） 伊藤 江尻

文／関東支部右衛門

「S30年卒72期クラス会報告」

去る2012年10月22日 クラス会を、鳥羽シーサイドホテルにて、堀田幹事長のお世話により開くことが出来ましたので報告します。

何十年ぶりの報告、少し長くなりますがご容赦下さい。

我々のクラスは、三十数年クラス会を毎年行って過ぎ越し一年の息災を確かめております。勿論、何年振りと言う方も居ます。今年の参加者は、N科8名、E科12名 計20名。昨年も同人数でした。喜寿を迎える年齢になりましたので、健康上不参加の方、鳥羽は遠くてかなわんと言う方、海外旅行と重なって来れなかった方もいますし、卒業以来、顔を見せたことのない方もいます。又、毎年顔を見せていたのが暫く来ないとしたのかと気になるところです。

今後も毎年行う予定で、来年はどうするか話が出ていましたから、その内纏まって来ると思っています。鳥羽での開催は二年続いたので、どうなりますか。地理的には京浜と阪神の中間的なところが参加しやすいのですが、毎回、ゴルフを組み合わせるのでゴルフ場との兼ね合いもあり、幹事さんの苦勞するところです。

昔の話も色々出ますが、今年は Cutter でのセーリングで、二見沖から神島近くまで走ったりと、天気と相談して楽しんだ話がありました。半世紀以上の差は隔世

の感を超えるもので、学校訪問では女学生がいると驚く仲間もいます。

さて、私から同窓会について、旧体制から現在の体制状況を色々話をしました。その後の活動状況から（故郷の海を愛する会の活動を含めて）学校とはより親密な関係であり、事務局の活動は全くの手前弁当であることなど。その話の中で自分の所属する支部からは、今だかつて一度も連絡がないと、文句を言うかたも居ました。これから判断すると「同窓会報」を全員に配付することは正解だと思います。「故郷の海を愛する会」の状況も一応話をし、日本財団の助成が無くなったので寄付のお願いもしました。

翌朝、来年の再会を約してお別れ、遠方（栃木）で真っ直ぐ帰る方、伊勢神宮へ寄る方、ゴルフの方（7人）とそれぞれです。ゴルフは朝熊にある「伊勢二見CC」の予定でしたが、雷鳴や大雨警報で当日キャンセルしました。全員後期高齢者なので用心しました。キャンセル後に寒くなるし雨は降り続いて正解でした。来春の良い季節にゴルフだけのクラス会を予定することで散開しました。

文責 古川 昭一



写真の名前

後列 山神 古川 久我 中野 遠藤 上山 宮倉
中列 川瀬 鶴田 等々力 青木 塩沢 中埜
前列 荒井 中津 堀田 小林 竹田 西村 柘植

「S40年卒航機合同クラス会」

2年ぶりに鳥羽シーサイドホテルでクラス会を開催しました。

10月25日

早く来て鳥羽の郵便局めぐりの人、レンタカーを借りて志摩めぐりの人達、先輩を運転手にしてパールロード観光した人、懐かしの堅神を歩いた人、化石探しをした人等々。

せっかくの鳥羽への旅行、もったいないから色々やろうと、クラス会開催前に楽しんだようです。

そして4時、予定の21名全員集合。早速少し肩振りし、お風呂に入り、6時から浴衣姿でクラス会。卒業以来初参加が1名。いつものことで、この時とばかりにしゃべるしゃべる。終りは予定1時間オーバー。寝たのは夜中をとくに過ぎていた。

10月26日

ゴルフ組4名、朝早く出発、スコア82、92、101、111。実力通りだそうです。奥さん孝行1名、南紀州めぐりを楽しみました。

仲良し2名、伊勢湾フェリー経由浜松へ、おいしいうなぎを堪能。

猫が家族1名、餌をやらなくっちゃと、急ぎ帰宅。その他9名、学校、朝熊スカイライン経由、内宮参拝。宇治山田駅で2年後の再会を約束し解散。



後列向かって左から 山下、平井、吉倉、磯貝、片岡、木下、伊達

中腰向かって左から 杉田、中久木、鈴木、鴨志田、中西、若林

前列向かって左から 川口、三村、丹羽、渡辺、古屋、和田、川田、樋口

「国立八期生(78期)クラス会報告」

松浦 肇

S36年本科卒(航機合同)のクラス会は、昨年11月18日(日)18時から「ホテル・マリナーズコート東京」で開催。出席者はクラスメート33名と同伴のご夫人方14名を加え総員47名となかなかの盛況であった。このクラス会は還暦記念以来、2年毎に関西、中京、関東の3地区持ち回りで開いているが、さすがに関東地区には在住会員が多く、中には故あって途中退学した懐かしい顔や卒業以来の再会場面もあり、毎度のことながら会えばたちまちにして紅顔可憐な商船学校の生徒時代に戻るといふ不思議さを実感した。

ご夫人方も何度も同伴している知己の方が多く、このクラス会を楽しみにしている方が多いとか。

着席ブッフェ形式で大いに食べ、飲みながらの語らいは、2時間ではもの足らず、2次会用の会場に席を移して、ダンスやカラオケを楽しむメンバーもあり、それでも22時頃には2年後の再会を約して散会となった。

翌19日(月)は、幹事の計らいで希望者(宿泊者の大部分)は「皇居参観」を体験することとなった。この行事は、皇居には滅多に入る機会の無い我々にとっては、まことに古稀記念のクラス会に相応しく、宮内庁への事前手続き等面倒があったと思われるが、関東地区の代表幹事(坂倉修氏)他皆さんの計画とご尽力には深く感謝している。

10時に桔梗門から皇居に入り、窓明館で宮内庁職員の説明を受けた後、富士見櫓—宮内庁庁舎—宮殿東庭—正門鉄橋(二重橋)—伏見櫓—宮殿—山下通りの順に参観。

落ち葉の季節というのに奇麗に掃き清められた通路が印象的であったことと、特に一般参賀の際皇族方が並ば



れる宮殿廊下(ベランダ)が以外と低い位置で、参賀最前列の間近であることに驚いた。また、皇居内から見る郵船ビルを始め丸の内周辺ビルの立ち並ぶ風景も珍しい眺めであった。参観は1時間20分程で終了し、その後は和田倉噴水公園レストランで会食。最後は改装成った東京駅前で記念撮影、2年後に今度は関西の地での再会を約して解散となった。 以上

「第76期同期会開催」



(記念写真、31名、敬称略、左上から) 柴山、猪野、故森氏奥様、上野、石崎氏奥様、北村、藤井(故竹之内氏ご長女 柴山奥様、故村越氏奥様、神田氏奥様、増田氏奥様、河西、小嶋、野田、野田氏奥様、細川氏奥様、細川、須貝、故青柳氏ご子息、長門谷、故青柳氏ご子息奥様、増田、故青柳氏奥様、故青柳氏孫、石崎、木戸先生、木戸先生奥様、神田、川井、脇、下川。

去る2013.6.12.(水)鳥羽商船第76期同期会を、ご高齢にもかかわらず、恩師木戸先生ご夫妻をお迎えして、東京港クルーズ船レストランシップ「ヴァンテアン」にて、16時30分からコース料理を楽しみながら、若かりし頃と変化著しい東京港を眺めつつ、歓談致しました。今回は久しぶりの東京での開催のため、幹事の石崎さん、川井さん、神田さん、須貝さんのお世話により、今は亡き友のご家族にも声をかけて戴き、皆様ご多忙の折にも関わらず、下記のごとく、ご家族、同期合わせて31名の参加となりました。卒業以来の友との感激の再会もあり、特に、亡き友のご遺族の方が緊張の中にも、夫を、父を、親を知っている同期の友との歓談の中に、大きな家族のような言い知れぬやすらぎと懐かしい在りし日の夫の、父の、親の姿に思いを馳せて、涙ぐむ場面も……。積もる話にホテル「アジュール竹芝」にて2次会の場も設けられ、時間の許される限り、温かく優しい、楽しい時を過ごしました。驚くべきことに川井さんが3番まで記憶していた「マドロスの恋」を最後に全員で合唱し、皆様、本当に嬉しそうで大喜び、素敵な同期会に、幹事さん方、特に石崎さんのご配慮に感謝しつつ、来年

は幹事、冊さん、下川、のもと、関西地区で開催予定となり、元気に再会を約して帰途につきました。

(文責 下川公一)

「高専3期(89期)の還暦の集い」

大橋秀章



9月6日から8日にかけて3間、昭和49年卒業生(高専3期生)が、関西 Singapore からを含めて14名が東京に集まり、久々の旧交を温めました。

中には40年ぶりに顔を合すメンバーもあり、昔を思い出しながら東京で杯を重ね、又、千葉でゴルフを楽しむ、横浜で2年生時代の担任であった故寺田洋祐教官の墓参を行い、その後桜木町の日本丸を見学するという3日間を過ごしました。ゴルフコンペはさすがに前日の深酒が効いたようで、成績はここでは発表を差し控えますが、年二回行っていますので、3期生限定ではありますが、腕に自信がある方は鳥羽商船の名誉を回復するために次回から参加をお願いします。

(我をと思わん方は、このページの返信から連絡下さい)

日本丸では、このボンクで寝ていたなど、昨日の事は忘れている連中が40年前の事をはっきりと覚えているのは逆行生健忘症の始まりでしょうか。

次回の集まりはマニラにしようかという意見もあり、次回が楽しみで、久しぶりに20歳に戻った幾日でした。

参加者 N 核 宣彦 石鍋光男 伊藤 勉 岩本正直
大橋秀章 岡本吉範 小山道夫 武部 賢
玉田明夫 中川省平 森田実知夫
E 荒波秀昌 西井則雄 高橋孝司

訃 報

母校名誉教授 小柳さん「お別れの会」



母校名誉教授小柳款さん(満82歳)におかれましては、病氣療養中のところ平成25年3月24日(日)に御逝去されました。

告別式につきまして、「お別れの会」として、4月1日15:00から鳥羽国際ホテルにおいて執り行われましたので、お知らせいたします。

同窓会事務局等から6名が参列し、御冥福をお祈りしました。

趣味など

ボトルシップ寄贈

S30N 長谷川 尚美

学校に初代～三代「鳥羽丸」のボトルシップを寄贈しました。



「歴史研究」

S15N 加藤卓雄



S15N(57期)加藤卓雄さんから「歴史研究」新年号を贈って頂きました。

この中に「太平洋戦争戦略変換と船団壊滅の無策をつく」と題して寄稿されています。

筆者紹介として、

90歳。昭和17年8月官立鳥羽商船卒業。海軍運輸部に出向、当時最も激しいガダルカナル争奪戦、ニューギニア撤退作戦に従事、幾重か死線を超えて生還、この記述は生の体験に基づいた真相である。著書『太平洋戦争敗戦の真相に迫る』/『バルチック艦隊東航の果て』/『第一線労働基準監督官の回顧録』/その他論文、論纂多数。三重県津市在住

鳥羽市広報に掲載

S29N 漆山 順三

現場で描く漆山さんの目はカメラでは捕らえられない色をも捕えます。風景画には欠かせない遠近法が生かされたデッサンも正確で写真以上の表現は人をびっくりさせます。沢山描いて、引き続きびっくりさせて下さい。



(36.0cm × 45.5cm 水彩)

絵は鳥羽市内妙慶川界隈の写生会の時の作品です。

八千代市広報に掲載

S40E 渡辺 一雄



先の漆山さんの記事と同様、今度は千葉県八千代市の広報紙にシルバー人材センターで活躍する同窓生の記事が表紙を飾りました。

(S40E) 渡辺一雄さん。現役時代、IT企業で習得した知識技能を生かした、リタイア後のやりがいのあるしごとをみつけたようです。

会員の投稿

同窓会のホームページに投稿された記事です。

「ちきゅう」に学ぶ

関東 支部衛門

2012年9月25日(火)

全日本船舶職員協会／横浜海洋福祉協会 合同講演会
地球深部探査船「ちきゅう」に学ぶに参加しました

世界第6位の排他的経済水域を有する日本。

そして、地球深部に眠る海底資源

講師 吉岡さん(広島商船出身)の明快なメッセージ
を拝聴 益々、興味を抱きました・・・

参加者も多数 関心の大きさが伺えるご講話でした。



軍人となった。後に蘭学塾「攻玉社」を設立し、青年の教育に力を注いだ。

晩年、鳥羽に帰って現・鳥羽商船学校を創始した。



東京 赤レンガ駅舎

関東支部右衛門

2012年11月17日(土)

綺麗に改装された東京駅舎

駅舎内 ステーションホテルで行われた支部総会を思い出しました・・・



池の浦 伊勢の人 2012年10月13日(土)

久しぶりに池の浦に行ってみました。秋晴れでしたが、湾の中はやや波高し。その中でカッター部とヨット部が練習しているのが見えました。私もかつては端艇大会の際に漕ぎました。大会前の練習はお尻の皮はむけるし、でも楽しかったです



第30回横浜港カッター大会

伊勢の人



一番奥水色Tシャツが東日本支部

近藤真琴 千葉八千代 2012年10月30日(火)

クラス会の始まる前にレンタカーを借りて志摩半島を周遊しました。

その際、鳥羽の石鏡の「海の博物館」で「近藤真琴」の名前を見つけました。「三重の海を拓いた人」、4名の内の一人として紹介されていました。

鳥羽商船学校の創始者「近藤真琴」1831～1886 鳥羽藩士の子。幼くして江戸で航海・測量術を学び、海軍

5月19日(日曜日)に横浜の山下公園前の海で第30回横浜港カッター大会が開催されていました。天候にも恵まれ、約140チームの参加もあり、盛大でした。鳥羽商船同窓会(東日本支部)から今年も1艇が参加、健闘しました。がんばっていますねー。

高校野球三重県予選応援

暑い最中の恒例の甲子園大会予選、我が母校鳥羽商船高専も7月20日松阪市総合運動公園野球場で伊勢工業と対戦致しました。

当同窓会として恒例の応援を計画多数の参加をよびかけましたが、事務局、役員関係者として3名しか参加せず寂しい思いを抱きながら一路球場にはせ参じましたが、50年前のカナナビでは、記憶が不鮮明でデヴィエートすること再々・・・

四日市支部との約束時間も気になりましたが、幸い前試合が延長に連れこみ、やっと間に合いました。入場を待機していた選手、監督にご挨拶、カツ入れることが出来、差し入れをわたすことができました。広い球場で四日市支部いづこと見渡しても見当が付きません。仕方なく同窓会旗を振って見たら、直ぐ側に四日市支部室さんはじめ6人の同胞が居られ、早速応援団を結成したところ、野球部3年生、松阪近郊の在学生及び父兄等約50名の大応援団がにわか作りで結成され試合前に大いに盛り上がり選手一同には何よりの援護に成ったでしょう。その時記念写真です。

心1つに母校応援したことは、伊勢志摩支部始まって以来でしょう。

今日応援旗振り回しますと張り切っていた若手も、暑さのため応援旗をネットに結び日よけにする始末、又、ある伊勢志摩支部理事が外野の木陰に昼寝に行ったとき天罰とも思われる満塁ホームランを頭の直ぐ側に打ち込まれたのが大きく響き試合は、14-0 5回コールド負け。応援団にカツ！

監督はじめ選手諸君、役員の方ご苦労様でした。

お疲れさま！！

応援団は、来年も必ず応援に来ることを誓い解散しました。御協力有り難うございました。



先輩につながる

<http://tobashousen-dousoukai.com>

アゲインストの風に
悩んでいないか？

事務局だより

商船学科卒業式で同窓会入会受付

2012年9月25日、母校では商船学科の卒業式が挙行されました。その後の謝恩パーティー会場で事務局は同窓会入会受付を行い、アンケート用紙に住所・就職先等の記入と入会金・年会費等の支払いをお願いしましたが、30名の卒業生の内、アンケートに記入が20数名、入会金を支払ってくれたのは17名のみとなりました。



学校と同窓会の打ち合わせ

2012年10月11日、藤田学校長並びに山下事務部長と江崎同窓会事務局長代行（当時）他事務局が以下の同窓会活動に関し打ち合わせを行い、学校側の協力をお願いしました。

- ・11月9日頃、記念碑周辺草刈り実施の件。
- ・11月17日同窓会支部長会の件。
- ・11月18日海学祭参加の件。
- ・12月21日頃、「故郷の海を愛する会」活動その③の件。



同窓会ホームページ更新

2012年11月14日に同窓会のホームページが更新されました。

画面で大きな変化はないと思いますが、アップできる容量が大きくなり、添付が可能なデータが増えました。迷惑投稿対策もできています。

会員の皆さんの多くのアクセスと投稿を期待しています。

尚、ホームページの更新に当たっては同窓生学校職員の方々に全面的にお世話になりました。

今後もホームページの管理に関し協力をお願いしています。

工業系新卒者の同窓会入会受付

2013年3月5日卒業式の後、謝恩パーティが開かれました。卒業生・保護者・母校教職員が集い、楽しいパーティーとなりました。

同窓会ではその会場に同窓会入会金などの受け取りの場を設け、新卒者から入会金・年会費の支払い・同窓会会員名簿の購入等を期待しました。

多くの同窓会事務局員が待ち受けましたが、結果は新卒者19名のみの賛同・支払いとなりました。残念です。



昭和38年度同窓会報（創刊号）

同窓会HPの「会則・会報」に過去に発行した同窓会報（昭和44年度以降）を紹介していますが、この度、昭和38年度に発行された「同窓会報の創刊号」を入手したのでアップしました。T11N卒河口俊巳さん（ご本人は既に亡くなっています）のご家族から遺品として多くの書籍と資料を贈っていただいた中に含まれていました。

昭和39年から43年の同窓会報がありましたら、ご一報ください。

白菊寮 解体予定

校長挨拶の中に白菊寮の解体予定が書かれています。本年度で北寮、来年度で南寮が解体されます。

時の流れですね。



攻玉社学園 創立150周年

校長挨拶の中に、近藤真琴翁が創立した東京の攻玉社学園が来る10月2日に創立150周年記念式典・祝賀会を執り行う予定との事でした。

おめでとうございます。

編集を終えて

本当に嬉しいニュースがありました。

工業系同窓生のクラス会が開催され、同窓会HPにアップされました。制御情報工学科、電子機械工学科の1期生です。

本会報の「クラス会」参照ください。

卒業して20年、昔を思い出し、絆を感じたのではないのでしょうか。

11月には工業系同窓生の熱意で伊勢志摩支部総会・懇親会が開催されます。工業系・商船系の多数の会員が参加して楽しい懇親会となる事でしょう。

同窓会に新しい風が吹き始めたのかもしれない。

H25年11月17日(日)は
恒例の海学祭です！

皆さん！ぜひご来場ください。
お待ちしております。

海学祭

「文化祭」
バンド演奏
昭和40年



セピア色の思い出



「文化祭」
コーラス
昭和40年

平成 25 年度行事予定（一部実績）

月日	曜日	時間	行事内容	関係者	備考
4月4日	木		入学式（本科 S,M,I 専攻科生産）		
5月16日	水		戦没・殉職船員追悼式	会長・東日本支部	増田氏、上山氏、 水野氏 参加
5月19日	土		攻玉社同窓会総会 参列	会長・東日本支部	
5月20日	日		横浜カッターレース参加	東日本支部	
6月9日	日	1020～	理事会・総会・懇親会	全役員・会員	懇親会 中部支部主催
6月29日 6月30日 7月15日			国立高専商船学科5校 合同進学ガイダンス	広島：西日本支部 東京：東日本支部 神戸：関西支部	日本船主協会主催
7月27日	土		特別事業 鳥羽商船練習船「鳥羽丸」で行く、 造船所見学と故郷の海山川	伊勢志摩支部	故郷の海を愛する会主催
8月20日	火		特別事業 四日市ポートビル、中部電力 川越電力館テラ 46 の見学	伊勢志摩支部	故郷の海を愛する会主催
9月29日	日		卒業式（N.E）・修了式（海事）	会長・担当副会長・ 地元支部役員・事務局	
9月末日			同窓会会報発行	事務局	
10月2日	火		入学式（専攻科 海事）		
11月17日	日		海学祭	伊勢志摩支部	長老庵そば店
12月中旬	日		特別事業 クリスマスを楽しもう （学校の歴史・海の話）	伊勢志摩支部	故郷の海を愛する会主催
1月～			会員名簿発行準備	事務局	
3月3日	月		卒業式（M・I）・修了式（生産）	会長・担当副会長・ 地元支部役員・事務局	

平成 26 年度行事予定

月日	曜日	時間	行事内容	関係者	備考
4月4日	金		入学式		
5月末			会員名簿発行	事務局	
6月8日	日		理事会・総会・懇親会	会長・副会長・会計監査・ 主管支部役員・全会員	懇親会 関西支部主催

鳥羽商船同窓会運営細則・旅費細則（改訂）

平成 25 年 6 月の総会で一部変更されましたので、変更箇所のみお知らせします。

（副会長）

第 2 条 副会長は若干名となっているが、当面副会長は 5 名体制とする。

2 副会長の担当支部を定め、会務遂行にあたる。

（1） 田中副会長 北海道支部、東日本支部

（2） 菅沼副会長 中部支部

（3） 山田副会長 四日市支部

（4） 金田副会長 伊勢志摩支部

（5） 藤本副会長 関西支部、西日本支部

3 会長はあらかじめ職務代行副会長を指名しておき、指名なき場合は副会長間で協議する。

附則 この細則は、平成 25 年 6 月 9 日から施行する。

（旅費の支払い）

第 2 条 旅費は交通費のみの支払いを原則とし、宿泊費、日当等は支給しない。

2 交通費は主要駅間実費の 90 パーセントを上限とし千円以下を切り捨てとする。

3 事務局は主要駅間旅費一覧表を作成し、それに基づき支給する。

附則 この細則は、平成 25 年 6 月 9 日から施行する。

会員の移動等

新入会員（平成25年9月卒は含まず）

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計
未	未	27	26	53

物故会員（平成24年4月から平成25年5月31日）

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計
13	16	0	0	29

準会員 本科（平成25年8月1日 現在数）

S科Nコース	S科Eコース	S科	M科	I科	合計
59	49	86	201	209	604

会員数（平成25年5月 基礎データによる）

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計
1451	1714	770	738	4673

特別会員（平成25年5月 現在）

S科Nコース	S科Eコース	M科	I科	合計
6	5	0	0	11

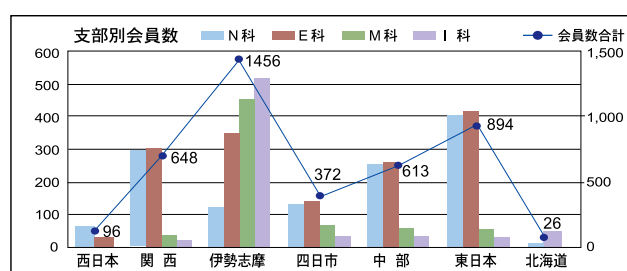
専攻科（平成25年5月 現在）

海事システム学	生産システム学	合計
2	23	25

注記：S科（商船学科）について 入学のときはコースを問わず、商船科に入学します航海にするか機関コースにするかは、2年の終わる時に決めます。よって、上記準会員の本科生は2年生まではS科で、3年生からはS科Nコース、S科Eコースとして報告しています。

鳥羽商船同窓会 会員数・支部会員数（平成25年5月 現在）

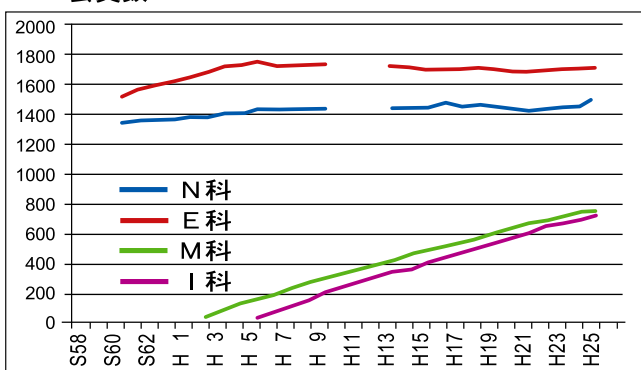
	卒業生	現会員	(現会員数内訳)		死亡	小計
			支部所属	支部不明		
N科	2516	1447	1189	258	1069	2517
E科	2702	1708	1391	317	994	2703
M科	774	770	605	165	4	774
I科	738	738	574	164	0	738
合計	6730	4463	3761	904	2067	6732



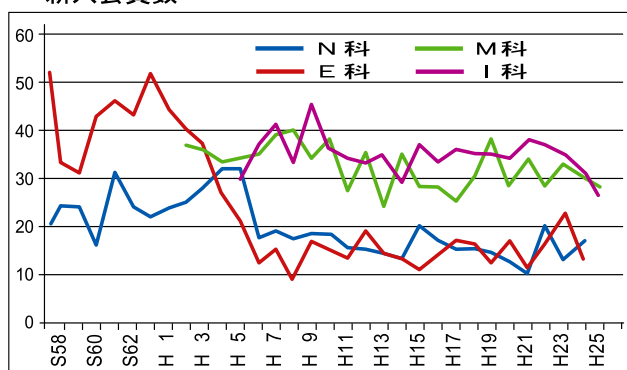
会員数の変化

会員数の記録（推移）

会員数

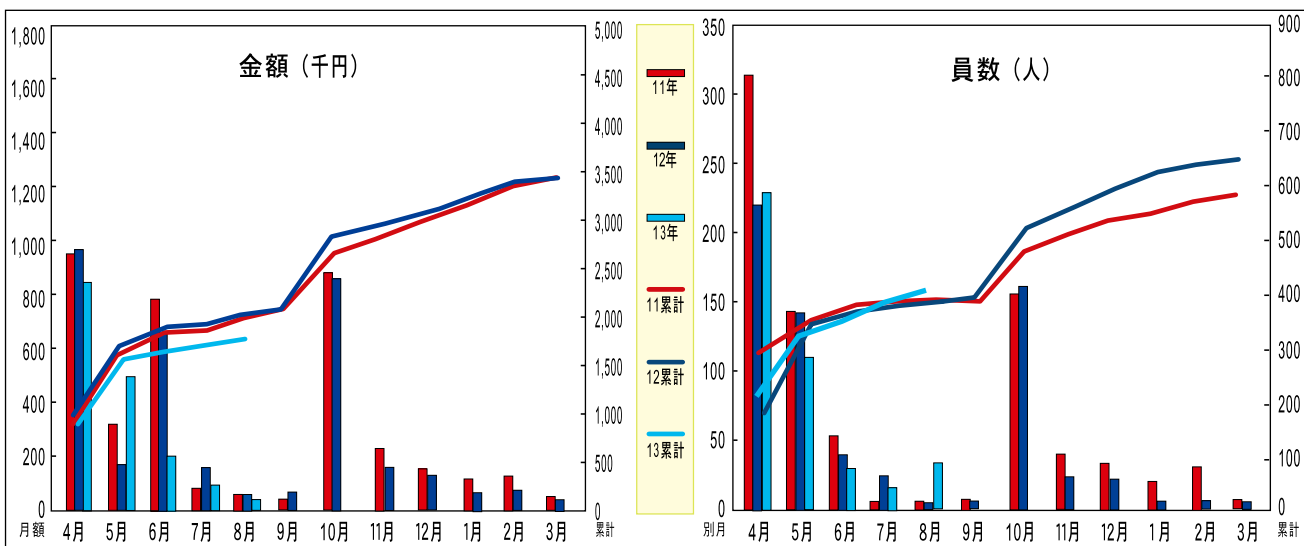


新入会員数



月別会費納入状況

会費納入実績では4月と10月にピークがあります。これは会報の送付と総会の案内の時期に重なります。



ホームページをご覧ください

鳥羽商船同窓会

検索 

<http://tobashousen-dousoukai.com/>

学生募集
の
PR依頼

少子化の時代を迎え、義務教育以外の学校は皆、学生の確保に躍起になっています。特に大学は学生の全入学時代に突入し、一段と厳しさを増しています。将来に向け予断は許されず、学校としても学生募集のPRに励んでいます。

つきましては、より優秀な学生に入学していただくため同窓会員の御協力を仰ぎたい所存です。学校に御連絡いただければ、A2版ポスター、学校案内冊子、学生募集要項をお送りしますので、下記宛に御連絡いただきますよう、よろしくお願いします。

独立行政法人
国立高等専門学校機構

鳥羽商船高等専門学校

〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 電話(0599)25-8404

ホームページアドレス <http://www.toba-cmt.ac.jp/> E-mai gakusei-nyushi@toba-cmt.ac.jp

◎書類請求（無料）は本校の学生課入試・支援係へ